第3次 男女共同参画基本計画　事業評価シート

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	1　男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	①男女共同参画の意識啓発

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
1	1	男女共同参画社会づくりのための情報紙の発行	市民と協働により情報紙を発行し、市民の手に届くよう配布します。	【管理指標項目】 情報紙の発行回数 【目標値】 年3回 【7年度実績】 年2回	情報紙「きらきら」を市民公募の編集委員6名と編集・発行し、学校や関係機関等に配布した。 第60号【「看護師になる」という選択～多様性とともに歩む私たちの未来～】（18,000部） 第61号【部長職に就いた女性ロールモデル～“今できるベスト”を重ねて～】（20,000部）	第60号は東邦大学の看護実習生を特集記事とし、その記事を大学HPにおいて広報いただくことでこれから社会に出る学生に対して関心をもっていただくような働きかけとなった。第61号は女性ロールモデルを特集記事とし、配布先には商工会議所も含まれており、女性のキャリアデザインに関心をもっていただくような働きかけとなった。 また、広く配布することが編集委員への参加希望にもつながり、新規に1名が加入した。	読み手の関心事をとらえ、意識啓発につながる男女共同参画の特集記事となるよう取材先に工夫し作成する。 引き続き、情報紙の内容に合わせて配布先を見直し、より多くの方に読んでいただけるよう努める。 また、配布先に習志野高校を加えてる予定であり、より若い層への周知に努める。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	第60、61号ともに近年の世相に合った内容に仕上がり、配布先や周知についてもその号の掲載内容に興味関心を抱きやすい層の目に入りやすいよう工夫した。	配布先に市内小中学校を加える、発行回数を3回から2回に見直すかわりに各号の内容を充実させる、等の工夫で情報紙を社会に行き渡らせた。 また、コロナ渦をきっかけに編集会議のオンライン参加の環境を整備した、等の会議の活性化となる取り組みは、情報誌の完成度の向上につながった。	多様性社会推進課
2	2	男女共同参画週間における講演会などの実施	毎年行われる国の男女共同参画週間に併せ、講演会などを実施します。	【管理指標項目】 男女共同参画週間に併せた講演会などの実施回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年1回	男女共同参画週間にあわせた講演会を実施した。 テーマ：相談力・受援力のアップ 参加者：会場39人	若い世代の参加を促すために、若年層が興味を抱きやすいテーマ設定、保育所等を中心としたチラシ配布等の周知を行ったが、結果としては40歳代以上の参加が大半を占める結果となった。	次年度以降の男女共同参画週間に向け、運営委員会を立ち上げ、課題から テーマを考察し、幅広い世代の人に男女共同参画意識を持つきっかけとなるような講演会の実施に向け、準備を進めている。 また、左記の課題を解決するために、周知・申込の方法をはじめとしたさらなる工夫を検討する。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	講演後のアンケートにおいて9割以上の人が「参考になった」と回答し、男女共同参画に関して考える機会となった。	毎年様々なテーマを取り上げ講演会を行い、また中央図書館と連携し関連書籍の展示を行う等の試みも取り入れ、男女共同参画について広く周知を行うことができた。 また、令和6年度には市制施行70周年の冠事業として産業振興課と共同開催し、更に商工会議所の協力を得ることで連携を図り、多くの参加者を集めることができた。	多様性社会推進課
3	3	広報紙、ホームページ等メディアの活用による啓発	男女共同参画センターで行っている事業や、男女共同参画に関する情報を、広報紙、ホームページ、ツイッター等を通じて発信します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する情報の広報紙、ホームページ、ツイッター等による啓発回数 【目標値】 年10回 【7年度実績】 年11回	・「性の多様性に関する啓発講座」 ⇒広報習志野、ホームページ、X（旧ツイッター）、LINE ・「男女共同参画週間事業」 ⇒広報習志野、ホームページ、TVモニター ・「男女共同参画啓発講座（8月、1月に開催。それぞれ下記にて発信）」 ⇒広報習志野、ホームページ、X（旧ツイッター）、LINE ・「女性に対する暴力をなくす運動」 ⇒広報習志野、ホームページ ・「再チャレンジ支援講座」（全3回開催） ⇒広報習志野、ホームページ、LINE ・「LGBT講座」 ⇒広報習志野、X（旧ツイッター）、LINE、ホームページ ・「パラレルキャリア講座」 ⇒広報習志野、ホームページ、LINE ・男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」編集委員募集 ⇒広報習志野、ホームページ ・男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」発行周知（9月号、2月号をそれぞれ下記にて発信）） ⇒ホームページ、X（旧ツイッター）	各種講座の周知及び男女共同参画に関する情報の広報活動を実施した。男女共同参画に関して、継続的に広報を行い、広く意識の醸成に努める必要がある。	広報紙及びホームページ等に男女共同参画の情報掲載を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各種講座等の周知及び男女共同参画に関する情報発信を行った。 講座の参加者アンケートでは、参考になったとの回答が多く得られ、男女共同参画の意識醸成につながった。	周知方法にLINE配信を取り入れるなど、より広く発信する取り組みを行った。 また、講座開催前だけでなく開催後にもその内容をホームページに掲載することで、より広く意識の醸成に努めた。	多様性社会推進課
4	4	市職員に対する男女共同参画に関する研修の実施	新規採用職員を対象として、男女共同参画の理解を深める研修を実施し、男女共同参画の意識向上を目指します。	【管理指標項目】 市職員対象の男女共同参画に関する研修の実施回数 【目標値】 年1回以上 【7年度実績】 年1回	新規採用職員研修（後期）において、男女共同参画についての研修を実施。 （令和7年11月,受講者数：49名）	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修（後期）の中で、男女共同参画に関する研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した多くの職員から、ワークライフバランスや男女共同参画社会の重要性について意見が出ており、男女共同参画の意識向上に繋がったと考える。	毎年多くの職員から男女共同参画社会やDVの防止、ジェンダーギャップの解消やワークライフバランスの重要性について多くの意見が出ており、男女共同参画に関する意識は高まったと考える。	人事課
5	5	民生委員・児童委員に対する男女共同参画に関する啓発の推進	市民生活に直結している民生委員・児童委員を対象とする男女共同参画に関する啓発を推進し、研修の参加を促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【6年度実績】	多様性社会推進課から配布依頼のあった講座等のチラシを配布した。	男女共同参画に係る講座や研修の案内は行っているが、参加は本人の意思に任せている。	今後も、民生委員・児童委員として、必要な知識を習得するため、研修の参加を促していく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	引き続き、男女共同参画の講座等のチラシの配布を行い、講座（研修）の参加を促しているため。	引き続き、男女共同参画の講座等のチラシの配布を行い、講座（研修）の参加を促しているため。	健康福祉政策課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	1　男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	①男女共同参画の意識啓発

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
6	6	男女共同参画についての庁内啓発	市職員へ庁内啓発紙を発行し、啓発を行います。	【管理指標項目】 市職員への男女共同参画に関する庁内啓発紙の発行回数 【目標値】 年2回 【7年度実績】 年2回	職員啓発紙「ピーナ通信」を発行した。 ・令和7年10月発行号「令和７年度習志野市男女共同参画週間事業講演会「相談力・受援力のアップ 」を開催しました！」 ・令和8年3月発行号「女性管理職が語る～これまでの歩み～」	職員啓発紙「ピーナ通信」にて、職員への意識啓発を実施した。 引き続き、職員のためになるタイムリーなテーマを取り上げ、男女共同参画に関する理解促進のための啓発を行う必要がある。	職員啓発紙「ピーナ通信」は次年度2回発行予定。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和7年10月発行号では認知度の低いテーマを取り上げ、また令和8年3月発行号では本市部長職に取材を行うことで、職員が関心を持ちやすいテーマとなった。	職員啓発紙「ピーナ通信」だけでなく、各講座の開催情報や千葉県主催のオンライン研修の周知など様々な情報を庁内掲示板へ掲載することにより、男女共同参画についての庁内啓発を行った。	多様性社会推進課
7	7	男女共同参画に関する講座などの開催	男女共同参画に関する講座などを開催します。	【管理指標項目】 男女共同参画に関する講座などの開催回数 【目標値】 年3回以上 【7年度実績】 年4回	・「男女共同参画啓発講座」(8月、1月にそれぞれ開催) ・「再チャレンジ支援講座」(11月に全3回開催) ・「パラレルキャリア講座」(3月に開催)	「男女共同参画啓発講座」(1月開催)においては、新たな取り組みとして防災に男女共同参画の視点を取り入れる主旨の講座を開催し、市民への意識啓発につながった。	引き続き、男女共同参画の意識啓発につながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各講座にて実施したアンケートでは、参考になったと回答した参加者が多く、男女共同参画に関する啓発となった。また市ホームページで講座の報告をし、参加者以外への情報提供を図った。	家事育児講座、男性限定の絵本の読み聞かせ講座、再就職希望の女性限定のExcel講座、といった多種多様なジャンルの講座を行うことで、市民への意識啓発につながった。	多様性社会推進課
8	8-1	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第61号において、「部長職に就いた女性ロールモデル～“今できるベストを重ねて～」という女性の働き方をテーマとして、商工会議所を経由して会議所会員に配布した。 ・講座の案内チラシについて、商工会議所を経由して会議所会員に配布した。	会議所会員以外の事業所への啓発方法について引き続き検討する必要がある。	男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第62号（令和8年9月発行予定）について、男性の育休を特集記事とし、商工会議所を通じて扞診予定 市内事業所の男性取得者に取材を予定し、男性視点から男女共同参画を啓発する予定。 また、会議所会員以外の事業所への啓発について引き続き検討する必要がある。 なお、国・県等からの事業者向けの情報提供があった場合は周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	各事業所への男女共同参画社会づくり啓発紙「きらきら」の配布により、男女共同参画の取り組みについて考えるきっかけをつくることができた。	男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の配布、令和6年度は習志野市制施行70周年記念の冠事業として商工会議所の協力のもと働き方に関する講演会を開催、令和3年度は習志野市ワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査を実施して報告書を商工会議所を通じて配布、といった取り組みにより周知・啓発を実施した。	多様性社会推進課
9	8-2	事業所に対する男女共同参画に関する啓発	事業所に対して、商工会議所などの関係機関と連携し、男女共同参画に関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	多様性社会推進課より依頼のあったリーフレット等を窓口に配架し、周知に努めた。	特になし。	次年度は、事業者が参加するイベント等の機会を活用し、周知に取り組む。 窓口への配架は引き続き継続する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	リーフレットの配架により男女共同参画に関する啓発を行えたため。	多様性社会推進課と協力することで、昨年度よりも周知の機会を増やすことができたため。	産業振興課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	1　男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	②男女共同参画に関する情報収集と調査研究

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
10	9	男女共同参画関係図書および情報の収集と提供	男女共同参画に関する図書および資料を整備し、提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・貸出人数4人（4冊） ・各種啓発講座にて、関連図書を展示し、情報提供を行った。 ・男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」でおすすめ図書を紹介するコーナーを設けた。	各種啓発講座での展示や、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」においておすすめ図書を紹介することで、所蔵する図書の周知につなげるほか、中央図書館の協力により、ブックポスト経由での返却を受け付けることで、利用者の利便性向上を図っている。 引き続き、利用しやすい環境整備について検討していく必要がある。	各種啓発講座での展示や、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」にておすすめ図書を紹介することで、図書貸出につながった事例があることから、継続して関連した図書の紹介を行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	適切な周知を図ってはいるが、図書および資料の貸出人数は年々減少傾向にある。	各種啓発講座での展示、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」にておすすめ図書を紹介、などの取り組みを継続して周知を図った。 また、コロナ渦の際は感染拡大防止のために施設内での図書閲覧を休止しちば電子申請サービスを活用した事前予約制による貸出を実施、定期的な蔵書整理を実施、等の状況に沿った対応を行った。 しかし、適切な周知を図ってはいるが、図書および資料の貸出人数は年々減少傾向にある。	多様性社会推進課
11	10	男女共同参画に関する意識調査の実施	次期基本計画策定の資料とするため、市民、事業所及び市職員の男女共同参画に関する意識調査を実施します。	【管理指標項目】 市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査の実施回数 【目標値】 現計画中に1回 【7年度実績】 0回	令和7年度は調査の実施なし。 （令和6年度実施済み。）	令和7年度は調査の実施なし。 （令和6年度実施済み。）	市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査を令和6年度に実施し、得た結果を第四次計画の策定するための基礎資料として活用した。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	令和7年度は調査の実施なし。 （令和6年度実施済み。）	市民、事業所および市職員の男女共同参画に関する意識調査を令和6年度に実施し、得た結果を第4次計画の策定するための基礎資料として活用した。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	1　男女共同参画の意識の醸成
施策の方向	③国際交流を通じた男女平等意識への理解の促進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
12	11	社会的性別（ジェンダー）の視点を持ち、国際交流の促進および国際理解に向けた情報の収集と提供	姉妹都市との交流を中心に、男女問わず、社会的性別（ジェンダー）の視点を持った市民の国際感覚の醸成を促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市国際交流協会に対し、補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。 また、令和8年度に実施予定の姉妹都市提携40周年事業及び姉妹都市青少年交流事業について、市国際交流協会及びタスカルーサ市担当と連携し、行程（案）を作成した。 事業におけるタスカルーサ市への派遣団の募集は、広報紙他、国際交流協会より各学校へ周知し、男女問わず応募を受け付けている。 その他、タスカルーサ市桜まつりへの参加・協力を行い、俳句コンテスト及び絵画コンテストに市内各小・中・高等学校生徒及び成人から数多くの応募があり、国際感覚の醸成を促した。	令和8年度は、姉妹都市提携40周年事業及び姉妹都市青少年交流事業の実施予定年であり、各事業において、受入・派遣を行う。できるだけ早い段階で参加人数の確定や時期の確定を進める。 市国際交流協会に事業委託はおこなうものの、行程案に含まれる施設見学等の要望がかなえられるよう、庁内各課との調整を要する。	タスカルーサ市側の体制も変化したことから、両市の重要視するもの、優先順位をきちんと明確にとらえ、タスカルーサ市及び市国際交流協会と密に連絡を取り合い、計画を進めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	姉妹都市交流事業が復活し、各市の交流の捉え方について、随時すり合わせができている。	国際交流という性質上、新型コロナウイルスに制限を受ける期間が長く、実績の振り幅の大きい分野であったが、制限期間中に実施したオンライン交流などが、気軽に交流のできる場として定着し、現在も業務上の調整や打ち合わせ等に大いに活用できている。 また、市国際交流協会員もコロナウイルス感染症を受け、345人まで減少していたものの、5類移行後は会員数も429人と以前同様に増加し、協会事業や本市国際交流事業に興味をもってもらえる環境が整備できつつあると感じている。	協働政策課

基本目標	Ⅰ 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	①就学前における男女平等教育の推進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
13	12	保育所・幼稚園・こども園における男女平等の保育・教育の推進	乳幼児の保育や指導において、男女平等の視点に配慮したカリキュラムを行っているかを点検し、必要に応じて見直しを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女平等の視点を含んだこどもの人権教育を指導計画に位置付け、計画的に実施をした。	計画的な人権教育と、日々の教育・保育での具体的な場面や姿を併せ、こどもたちの理解につながる内容の工夫を継続して取り組んでいく。	今後も、人権教育に関する教材や資料を参考に、指導計画の内容の充実を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	こどもへの人権教育の充実を意識した回数増加や内容の工夫が図られたため。	男女の区別ない教育・保育内容を環境面や保育教諭の関わり方等、具体的に考えていく取り組みが図られてきているため。	こども保育課
14	13	保育・幼児教育関係者の男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施	保育所・幼稚園・こども園職員に対して、男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修を実施します。	【管理指標項目】 男女平等教育に関する内容を盛り込んだ研修の実施回数 【目標値】 年3回 【7年度実績】 年3回	研修実施回数は施設により異なるが、内容に外部資料や事例を取り入れるなど工夫をし、取り組んできた。	各施設の職員数や実態に合わせて、研修内容を考え、日々の教育・保育につながるものとしていく。	計画的に研修実施を行い、日々の教育・保育につなげていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	年3回の研修実施に取り組んだ施設数が増えたため。	男女平等の意識を職員間で確認、共有しながら、教育・保育の実施に努めているため。	こども保育課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	②学校における男女平等教育の推進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
15	14	男女平等の視点を盛り込んだ人権尊重教育の推進	人権尊重教育の一環として、男女平等について学ぶ授業などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	社会科や道徳科、総合的な学習の時間を中心に多様性の尊重や基本的人権、ユニバーサルデザインについて学ぶ機会を設けた。	学習したことが日常生活においてどう生かされているのか評価がしづらい。	各教科等においての学習を通して男女平等や多様性の理解について推進していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教科学習の中で男女平等や性の多様性について継続的に指導している。	各年度において男女平等や多様性に関する理解を深める学習機会を継続的に提供してきたため。	指導課
16	15	男女平等の視点に立った教育相談、適応指導教室の実施	教育相談、適応指導教室においては、男女平等の視点に配慮し、個に応じた相談、指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	児童生徒、保護者に対して、男女平等の視点をもちながら、個に応じた丁寧な相談、指導を行った。	多様化する相談内容に丁寧に、的確に対応することができるよう、センター全体の知識理解を深め、現代的な課題に向き合っていけるようにする。	常に個に応じた丁寧な対応、指導、相談が行えるよう心掛け、教育相談業務やフレンドあいあいの運営を実施していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	児童生徒が楽しくフレンドあいあいに通い、自分らしさを表現できる姿が見られたため。また、教育相談の中で保護者の方に寄り添った相談業務を行うことができたため。	男女平等の視点に立ち、教育相談やフレンドあいあいの活動の中で児童生徒や保護者それぞれの悩みや不安に寄り添いながら相談や指導を行うことができたため。	総合教育センター
17	16	男女平等の視点に立った進路指導の実施	進路指導を行う上で、生徒や保護者に対し、男女平等の視点に配慮し、個に応じた指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女平等の視点に立ち、個の実態に応じた進路指導を実施した。	男女の平等の視点やキャリア教育の観点から、生徒の卒業後の将来について主体的に学ぶ取り組みが必要である。	個に応じた進路指導となるように引き続き取組を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女平等の視点に立って取組ができたため。	各年度において男女平等の視点に立って取組を継続できたため。	指導課
18	17	男女平等の視点に立った職場体験学習の実施	職場体験学習を行う上で、男女平等の視点に配慮し、個に応じた職場体験学習に取り組めるようにします。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女平等の視点に立ち、個の実態に応じた職場体験学習を実施した。	性別等の区別なく、児童生徒の興味関心に沿って主体的に学べる機会としていく必要がある。	個の興味関心にそった体験学習となるように引き続き取組を進める。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女平等の視点に立って取組ができたため。	各年度において男女平等の視点に立って取組を継続できたため。	指導課
19	18-1	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担（校務分掌）を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	各学校において、校長が学校教育目標の実現に向け、性別にとらわれず、個人の特性や長所を考慮して適材適所を意識した校務分掌を決定した。	管理職のみならず、全教職員に対して根強い無意識の固定化（アンコンシャスバイアス）を取り除く必要がある。	各種会議や研修等において、アンコンシャスバイアスや性別にとらわれないキャリア形成について触れる取組を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各学校において、実情に応じて適材適所、能力開発の視点で校務分掌を行っていた。	校務分掌の決定にあたっては、各学校において、性別にとらわれることなく、教員の経験、専門性及び能力開発の視点を踏まえた適材適所の配置に努めてきた。	指導課
20	18-2	校務分掌などにおける固定的性別役割分担の解消	性別にとらわれず、適材適所、能力開発の視点により教員の職務分担（校務分掌）を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・性別による固定観念を排し、各職員の専門性やキャリア形成、個々の希望を総合的に判断することで、能力を最大限に発揮できる校務分掌を編成した。 ・「チーム学校」の推進にあたり、分掌ごとの男女比や経験年数のバランスに配慮した。これにより、特定の性別に業務が偏ることなく、多角的な視点から学校課題に対応できる体制を整えた	・職務分担における性別役割の解消は進展しているものの、校内のリーダー的役割や運営委員会を構成する主任層における女性の配置割合については、依然として向上の余地がある。市全体として、より多角的な視点を持った学校運営を実現するため、女性教職員の積極的な登用を一層加速させることが重要である。 ・将来の管理職や中核教員を視野に入れた「資質向上」に向け、性別を問わずマネジメント能力を涵養する研修機会の充実や、ライフイベントを考慮した継続的なキャリア形成支援を組織的に推進していくことが課題である。	・学校訪問や悉皆研修等を通じて、女性教職員に対するリーダーシップ発揮への啓発を積極的に行い、意欲ある教職員が意思決定の場へ参画できる組織風土の醸成を働きかける。 ・次世代学校業務支援システム（C4th等）やデジタルツールの更なる活用を促進し、校務分掌における業務プロセスの簡素化・効率化を推進する。これにより生み出された時間を活用し、性別やライフステージにかかわらず、教職員がその能力を最大限に発揮しつつ、持続可能な形で責任ある職務を担える環境を整備する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	学務課として市内各小・中学校の校務分掌編成に対する実効性のある指導助言を行い、性別役割分担意識の解消に向けた組織改革を牽引したため。	学務課の指導により、校内における固定的性別役割分担が概ね解消され、女性教職員が重要な役割を担う学校が確実に増加したため。各校に対し、性別を問わない資質能力ベースの人事配置を徹底させた結果、女性の職能発揮が進み、学校運営の活性化に繋がったため。一方で、リーダー的役割を担う女性比率のさらなる向上を喫緊の課題と捉え、研修等を通じた組織的な教員の資質向上を継続的に支援したため。	学務課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	②学校における男女平等教育の推進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
21	19	教職員の男女共同参画に関する研修への参加促進	県で主催する男女共同参画に関する研修への参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・千葉県総合教育センター主催の「学校人権教育指導者研修」に市内小中学校の教職員2名を推薦 ・千葉県教育委員会主催の「学校人権教育研究協議会地区別協議会」に市内小学校・中学校・幼稚園・こども園の管理職が参加	今年度は、千葉県総合教育センターが主催する人権教育に関する研修が、1講座のみとなってしまった。また、この講座は、推薦者のみが参加する研修のため、参加者を増やすことができなかった。人権教育に関する業務は、他課の担当のため、今後、連携していく。	引き続き、千葉県教育委員会や千葉県総合教育センターが主催する男女共同参画に関する研修への参加を促進します。また、他課との連携ができるようにします。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	千葉県教育委員会や千葉県総合教育センターが主催する男女共同参画に関する研修への参加を促進することができたため。	千葉県総合教育センター主催の「学校人権教育指導者研修」に市内小中学校の教職員2名を毎年推薦し参加させることができたため。	総合教育センター
22	20-1	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女の区別の概念なく、個性と能力、興味と関心を基にキャリア設計を発達段階に合わせて実施できた。	キャリア形成において、男女の平等の視点からどのような課題があるのかを理解する学習は不足している。	キャリア形成において、男女の平等の視点からどのような課題があるのか理解を促す学習機会を提供する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	特別活動を要として、さまざまな教育活動の中で男女の隔てなく自己のキャリア形成を目指した学習の取り組みができている。	各年度において、特別活動を要として男女の隔たりなくキャリア形成を目指した学習ができているため。	指導課
23	20-2	キャリア教育の推進	男女ともに個性と能力に応じ、キャリア発達することによって社会的責任を果たし、自らの可能性を高めていく能力を育みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	日常の学校生活において、生徒自身が社会的責任及び能力を養っている。また、学校教育や生徒指導の観点からみても、日々男女分け隔てなく教育指導を行っている。	日々の学校教育において授業・部活動だけではなく、男女ともに分け隔てなく参加できる文化祭・体育祭・予餞会など、生徒自身が考え行動できるよう、社会的責任及び能力を養える教育環境を整備している。	学校行事に興味を持ってもらえるような企画を検討していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女が共に活躍できるように学校行事を企画しているため。	学校教育において授業・部活動だけではなく、男女ともに分け隔てなく参加できる文化祭・体育祭・予餞会など、生徒自身が考え行動できるよう、社会的責任及び能力を養える教育環境の整備を行ったため。	習志野高校（学務課）

基本目標	Ⅰ 人権が尊重される社会づくり
課題	2 男女平等教育・学習の推進
施策の方向	③家庭、地域における男女平等教育・学習の推進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
24	21	男女共同参画に関する講座などの開催や情報の提供	男女共同参画に関する講座などの開催や情報提供を行います。	【管理指標項目】男女共同参画に関連する講座の実施回数 【目標値】各公民館で年1回以上 【7年度実績】全公民館149 回	全公民館において、父母が協力し子育てにかかわりが持てるよう、幼児家庭教育学級、育児講座等を実施した。	父親の参加が少なく、子育てへのかかわりが母親に偏る傾向がみられるため、父親が主体的に育児に参加しやすい講座等の開催や意識の醸成が課題である。	父親が参加しやすいような開催日時の設定や父親向けの内容（遊び方や関わり方の講座等）を充実させ、参加しやすい雰囲気づくりや広報の工夫を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	父母が協力し子育てにかかわりが持てるよう機会をとらえて講座を実施することができた。	・幼児家庭教育学級、育児講座、PTA家庭教育学級等において実施できた。	公民館
25	22	男女平等の視点に立った幼児・PTA家庭教育学級の実施	幼児家庭教育学級およびPTA家庭教育学級の実施について、男女平等や男女共同参画の視点に配慮し、日程や内容などの検討を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・全公民館において、幼児家庭教育学級、PTA家庭教育学級を実施し、一部カリキュラムの内容を工夫するとともに土曜日に開催した。	男女平等や男女共同参画の視点を踏まえた講座を開催したものの、土曜日の開催でも母親中心の参加に偏る現状がある。	講座の内容の見直しや父親の積極的な参加を促す周知を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	機会を捉え講座を実施した。	・幼児家庭教育学級、PTA家庭教育学級において実施できた。	公民館
26	23	誰もが参加しやすい講座づくり	講座の実施について、誰もが参加できるよう日時・場所・保育などに配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・各公民館において実施する、親子講座において開催日を土日に配慮し実施した。 ・子ども講座において、保護者の送迎を考慮し土日開催に配慮した。 ・成人を対象とした講座においては保育対応を実施した。 ・性別にかかわりなく、誰もが参加できる講座を実施した。	土日の開催や保育付きで講座を実施したが、特定層（母親中心・関心が高い人など）に偏る傾向がある。	・引き続き、開催日等に配慮した講座の実施に努めるとともに、誰もが参加できることを明確に伝わるような広報（周知）を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	開催日時に配慮し講座を開催した。	親子講座や子ども講座の実施にあたり、各公民館において実施日に配慮した事業開催を行った。	公民館

基本目標	Ⅰ 人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	①多様な性を尊重する意識啓発

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績 （具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における 具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度 評価の理由	総合評価の理由	
27	24	性の多様性に関する理解促進	性の多様性に関する正しい理解を促進するための啓発活動を行います。また、パートナーシップ制度について調査、研究を行います。	【管理指標項目】 性の多様性に関する啓発の回数 【目標値】 年2回 【7年度実績】 年6回	・性の多様性講座を開催した。 （令和7年5月「絵本を通して私らしさを考える大人のための絵本講座」参加者29人） （令和7年12月「ALLY～個性を認めあう社会へ～」参加者8人）。 ・人権ポケットブック「セクシュアルマイノリティと人権」を購入し、講座参加者に配布した。 ・性の多様性の理解促進について、子育て支援コンシェルジュ養成講座（令和7年5月）、東邦大学実習生受け入れ（令和7年5月）および新規採用職員研修（令和7年11月）において説明を行った。 ・パートナーシップ・ファミリーシップ制度に取り組む県内自治体と都市間連携協定を締結、および全国の制度実施自治体で構成される「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」に加入することで、転出入に係る手続きの簡素化を図っている。	習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の円滑な運営及び制度周知と並行して、引き続き性の多様性に関する啓発を行う必要がある。	性の多様性に関する啓発は、継続的な取り組みが必要であることから、引き続き性の多様性に関する啓発講座を実施する。 また、習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度における、パートナー宣言証の提示により利用可能な行政サービスを改めてまとめ、ホームページに掲載することで制度の利用促進を図る。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	性の多様性講座の開催および啓発物の配布により、正しい理解を促進した。また、習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度の宣言件数は着実に増加しており、制度の浸透がうかがえる。	性の多様性講座の開催および啓発物の配布により、正しい理解を促進した。 また、習志野市パートナーシップ・ファミリーシップ制度において、令和4年6月1日に施行（令和8年3月31日時点で宣言件数18件）、令和5年7月11日に転出入に係る手続きの簡素化を図る目的で県内自治体と都市間連携を協定締結（当初は6市、令和8年3月31日時点で17市が加入）および令和7年3月1日に全国の制度実施自治体で構成される「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」に加入、等を実施した。、そしてこれらの周知を図るために、広報紙や市ホームページ等への掲載、報道機関へのプレスリリース等を実施した。	多様性社会推進課
28	25	【新規】 公的証明書などにおける性別欄の廃止などの周知	市が所管・使用する書類について法的義務付けや事務の性質上必要であるものを除き、性別欄を廃止することおよびアンケート等で性別欄が必要な場合は、男女以外の選択肢の設定をすることについて庁内への周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	性別欄に関連する「性的指向及び性自認・性別違和に関する対応指針」について、令和7年3月の改定を庁内インフォメーションで周知したうえでシステム上へ掲載、新規対応職員研修にて配布を行い、不要な性別欄削除の周知に努めた。また、表記方法等に関する担当課からの個別の相談に対して対応した。	公的証明書及びアンケート等の作成時の性別欄の掲載方法について、引き続き啓発を行う必要がある。	多様な性の理解促進のため、追跡調査を実施し、引き続き不要な性別欄削除と啓発に努める。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	不要な性別欄削除の周知に努め、表記方法等に関する担当課からの個別の相談に対して対応した。	令和2年5月、令和4年10月、令和5年10月および令和6年10月に公的書類等への性別欄掲載状況調査を実施。 平成30年6月に実施した基礎調査以降、77件（全体の17.1%）の書類から性別欄が廃止された。 また、調査を通じて、各課の多様な性への理解促進につながった。	多様性社会推進課
29	26-1	【新規】 学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	保健体育や社会科、道徳を中心に学習機会を提供した。	学習機会のより一層の充実に努めていく必要がある。	各教科等の他に、資料提供等、様々な場面を捉えて性の多様性に関する理解を促す取組の充実を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各教科等の時間において性の多様性について学ぶ機会を設けたため。	各年度において性の多様性について理解を深める取組を進めてきたため。	指導課
30	26-2	【新規】 学校における性の多様性に関する理解促進	人権教育の中で、性の多様性に関する内容を取り入れ、児童・生徒への理解を促進します。また、必要がない場合は性別による区分をしないよう配慮します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	各学校における性教育の中で、性の多様性についても取り上げるよう依頼した。	各学校で計画している外部講師(助産師等)による講演の中で、性の多様性についても触れていただいているが、多くの内容を取り扱うため、深く掘り下げることが難しい。	外部講師による講演前に行う打ち合わせにおいて、性の多様性についても講演内容に含まれることを確認し、引き続き取り扱いを依頼する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	指導や講演の中で触れることはあっても、そこから掘り下げることがなかなか難しいと感じたため。	指導や講演の中で触れているものの、限られた時間の中でこの内容に絞った指導は難しく、掘り下げることがなかなか難しいと感じたため。	保健体育安全課
31	27	【新規】 市職員に対する性の多様性に関する研修などの実施	新規採用職員研修において、性の多様性に関する内容を盛り込み、性の多様性に関する理解を促進します。	【管理指標項目】 市職員に対する性の多様性に関する研修の実施回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年1回	新規採用職員研修（後期）において、男女共同参画についての研修を実施。 （令和7年11月,受講者数：49名）	毎年、継続して実施していく必要がある。	新規採用職員研修（後期）の中で、性の多様性に関する研修を予定している。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	研修を受講した多くの職員から性の多様性やLGBTについて理解が深まったとの意見がでており、目標は達成できたと考える。	毎年受講した多くの職員からパートナーシップ・ファミリーシップ制度や性の多様性、LGBTを自分の業務と結び付けて考えた意見があり、理解は促進できたものと考える。	人事課
32	28	【新規】 教職員の性の多様性に関する研修などへの参加促進	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	千葉県総合教育センターが主催する性の多様性に関することをテーマにした研修が、今年度は実施されなかった。	性の多様性に関する研修について、他課が担当しているため、今後、連携が必要である。	他課と連携しながら、性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を促進します。	A:貢献できた D:事業を実施できなかった	A:貢献できた A:貢献できた	A:貢献できた A:貢献できた	A:貢献できた A:貢献できた	A:貢献できた A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	千葉県総合教育センターが主催する性の多様性に関することをテーマにした研修が、今年度は実施されなかったため。	県が主催する性の多様性に関する研修などへの教職員の参加を推進することができたため。	総合教育センター （令和6年度より担当課変更あり。～令和6年度　上段：指導課、下段：学校教育課）

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	②人権侵害のない環境に向けた啓発

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
33	29	人権尊重についての広報と啓発	人権啓発のパンフレット等の配布や広報紙により人権強化週間などの周知を行います。また、人権擁護委員の人権啓発活動をサポートします。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	広報習志野へ人権週間及び人権相談案内の掲載、人権啓発冊子・ポスターを各公共施設に配布したほか、人権擁護委員が行う人権教室、各種コンテスト、イベントにおける啓発活動等の支援を行った。加えて、人権週間を周知する横断幕を作成し庁舎へ掲示、テレビ広報なるほど習志野において人権教室を特集するといった啓発も実施した。 また、「虐待・暴力・いじめ・差別から自身を含む大切な人を守る都市宣言」の宣言文を各啓発講座で配布を行った。	人権擁護委員が行う人権教室の実施学校数は昨年度と同件数であったため、周知を行い拡大を図る。	法務省等各関係機関の作成するパンフレット、ポスターを活用した啓発活動を実施する。 また、人権擁護委員が主体となって行う、人権教室や標語、作文、ポスター原画の各コンテスト実施に係る支援を引き続き行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	人権教室について、例年は実施時期が3学期に集中しており人権擁護委員の負担が大きくなっていたが、令和7年度は年度当初の周知を拡大して実施時期の平準化を図ることができた。	人権擁護委員が行う人権教室の実施学校数および生徒数は、活動の周知により中間評価以降は増加している。 また、人権教室開催後に、学校によって実施した受講生徒へのアンケート（感想文）から、悩みを抱えた生徒の声を拾い学校と共有をすることができた。 さらに、横断幕の作成やテレビ広報の放送など、周知方法を拡大している。	多様性社会推進課
34	30	【女性活躍】 ハラスメントの防止に向けた啓発	セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントに関する認識を深め、被害防止に向けた啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女共同参画啓発講座で家族で取り組む家事・育児に関する講座を実施した。 情報紙「きらきら」においては、第61号に男性の育児休業について記事を掲載して啓発を図った。	講座や講義を通じて、幅広い世代への周知を行った。今後も、テーマにあわせて、啓発の対象や手法を変えて継続的に取り組む必要がある。	引き続き啓発方法や啓発機会の検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	講座の開催、情報誌の配布等により、幅広い世代への周知を行った。	啓発講座の実施に加え、東邦大学にてDVおよびデートDVについて講義を実施（令和5年7月14日、令和6年7月31日）、また情報紙「きらきら」においては第59号にハラスメント、第61号に男性の育児休業について記事の掲載を行い、啓発を図った。	多様性社会推進課
35	31-1	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	商工会議所等との連携によるハラスメント防止の取り組みは実施できなかった。	打ち合わせの機会を持つことができなかった。	商工会議所との連携した啓発に向け、協議を進めていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	打ち合わせの機会を持つことができなかった。	令和6年度に、産業振興課と共同開催した男女共同参画週間事業の講演会にて、商工会議所の協力のもと、ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる市内事業所を紹介してもらい、その社員が講演会にてワーク・ライフ・バランスを意識した事業所の取り組みや体制、また、育児経験について発表することで、幅広い世代に周知を行った。	多様性社会推進課
36	31-2	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	商工会議所などと連携・協力し、誰もが働きやすい雇用環境を確保するため、セクシュアル・ハラスメント、妊娠、出産、育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止対策の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	個々の労働者と使用者の間で生じた、パワハラ、セクハラなどの労働関係のトラブルを解決するための窓口を広報紙やホームページにて周知した。	特になし。	引き続き、ホームページや広報紙等を活用しながら、制度周知に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	継続して広報習志野やホームページにて広く市民に周知が行えたため。	6年間継続してハラスメント防止に向けた啓発を行うことができたため	産業振興課
37	31-3	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・臨時的任用職員研修（年3回） 服務及び不祥事根絶・綱紀粛正について ・市内小中学校から依頼を受けて不祥事根絶研修を実施（一中、二中、習高、計3回） ・市内小中学校管理職、教育委員会職員を対象に弁護士を招き保護者対応を含めた不祥事根絶研修の開催（夏季休業中8/26）	ハラスメント防止および不祥事根絶を確実なものとするためには、教職員一人ひとりが当事者意識と切実感を持って日々の教育活動に臨むことが不可欠である。今後も、研修内容の形骸化を防ぎつつ、継続的な啓発活動を通じて、服務規律の徹底と組織風土の改革を推進することが課題である。	管理職に対しては職場マネジメントおよびハラスメント未然防止策の徹底を図る一方、臨時的任用職員や会計年度任用職員等に対しても服務規律研修を確実に実施し、市内全校における安全で健全な職場環境の構築を目指す。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	教育委員会としてハラスメント防止に向けた対応指針を校長会議等を通じて管理職への周知徹底を図ったため。	前年度までの取組を継続しつつ、研修対象を管理職から臨時的任用職員、会計年度任用職員まで拡大し、全教職員を網羅する啓発体制を確立した。特に、事例研究等を通じた当事者意識の醸成に重点を置いた研修を展開したことで、ハラスメントを許さない組織文化の定着と、不祥事防止の実効性をより一層高めることができたため。	学務課
38	31-4	【女性活躍】 働く場におけるハラスメントの防止に向けた啓発	市職員や教育関係者に対し、セクシュアル・ハラスメント、妊娠・出産・育児休業などに関するハラスメント、パワー・ハラスメントの防止に向けた研修や、被害者の支援などを実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	主なもの ・労務管理研修（5級昇格者）やリスクマネジメント研修（6級管理職）を実施し、ハラスメントにおける、管理・監督者としての役割を学んだ。 （【労務管理研修】令和7年12月24日，受講者数：28名） （【リスクマネジメント研修】：令和7年7月30日：33名）	ハラスメントについては、全ての職員が正しい理解と防止するための方策を学ぶ必要がある。	各階層別研修においてアサーティブコミュニケーションとハラスメントを研修で扱うテーマの一つとして盛り込む予定。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	管理・監督者に対する研修に加えて、2・3・4級昇格者を対象とした研修においても、同僚、後輩、部下との関わり方について学ぶなど、ハラスメント防止に向けた取組を実施したため。	多くの階層別研修においてハラスメントの加害者、被害者になることを防止するための内容を盛り込んで実施したことで貢献できたと考える。	人事課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	3 性の多様性の理解促進と差別・人権侵害のない環境の醸成
施策の方向	②人権侵害のない環境に向けた啓発

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
39	32	性の商品化を防ぐための啓発	性の商品化を防ぐため、有害ビラや看板の撤去などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	性の商品化を防止するため、有害ビラや看板の撤去等を目的として、関係箇所のパトロールを実施した。 その結果、有害チラシや不適切な落書き等は確認されず、地域の環境が適切に保たれている状況を確認した。	有害ビラ等は確認されなかったが、潜在的な事案の把握や早期発見には課題がある。 また、継続的な見守り体制や関係機関との連携の強化が必要である。	引き続きパトロールを実施し、有害ビラ等の早期発見・未然防止に努める。 また、関係機関との連携を強化するとともに、地域への啓発活動を継続し、健全な環境の維持を図る。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パトロールの実施により、有害ビラ等の不適切な掲示物は確認されず、地域の良好な環境が維持されていることを確認できたため。また、継続的な見守りと関係機関との連携により、未然防止に寄与したと考えられるため。	令和2年度から令和7年度まで継続してパトロールや啓発活動を実施するとともに、落書き等を発見した際には関係機関へ速やかに消去を依頼するなど、適切な対応を行ってきた。 その結果、有害ビラ等の不適切な掲示物は確認されず、地域の良好な環境の維持と未然防止に寄与したと考えられるため。	青少年センター

基本目標	Ⅰ 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	①DV防止のための広報・啓発

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績 （具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における 具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度 評価の理由	総合評価の理由	
40	33	DVに関する啓発	啓発パンフレットの配布や広報紙、ホームページ等によりDVは人権侵害であることや「女性に対する暴力をなくす運動」の周知について広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・11月の「女性に対する暴力をなくす運動」は広報習志野に掲載、テレビモニターによる放映を行うほか、市庁舎のライトアップ、男女共同参画推進団体によるDVに関する掲示を行った。また、11月は児童虐待防止推進月間であることから子育て支援課と連携し、オレンジリボン運動とあわせて、DV防止を表すパープルリボン運動の啓発のため、市庁舎階段をパープルリボンで装飾した。	DVに関する啓発及び情報提供・相談窓口の啓発に努める必要がある。 今後もより多くの市民にDVに関する啓発、情報提供、また相談窓口の周知を効果的にできるよう、掲示等の工夫を検討する必要がある。	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」において、広報紙掲載、テレビモニター掲載、庁舎ライトアップおよび市庁舎階段をパープルリボンで装飾、男女共同参画推進団体によるDVに関する掲示などを予定している。 今後も多くの人に啓発を行うため、周知・啓発の方法を検討する必要がある。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	子育て支援課と連携し、オレンジリボン運動とあわせてパープルリボン運動にて啓発を行い、その他様々な方法で周知・啓発を行った。	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」に毎年取り組むのに加え、東邦大学においてDVおよびデートDVについて講義を実施（令和5年7月14日、令和6年7月31日）および国が作成したDVカードを市庁舎トイレに設置及び各課にチラシを配布などの取り組みを行った。 またコロナ渦の際に、リモートワークの推進やステイホームによりDVのリスクが高くなることを想定し、情報提供や相談窓口の周知のため、ステッカー、広報紙、ホームページ、ツイッターなど多様な方法で啓発に取り組んだ。	多様性社会推進課
41	34	児童虐待防止への啓発	ポスターやパンフレットの配布、研修などにより、児童虐待防止の啓発を行います。	【管理指標項目】 児童虐待防止への啓発回数 【目標値】 年1回以上 【7年度実績】 年5回	児童虐待防止の啓発活動 ①イオン津田沼にて啓発活動 ②広報誌掲載 ③テレビ広報動画配信 ④市庁舎内パネル展示 ⑤ならしのこどもを守る地域ネットワーク主催研修会	特になし	引き続き、児童虐待防止の啓発活動として、ポスターやパンフレットの配布、研修会の開催を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	11月の児童虐待防止推進月間を中心に庁内外で啓発活動を行うことができたため。	毎年複数の手法を取り入れ、幅広い層に児童虐待防止の啓発を行えたため。	こども家庭課（旧:子育て支援課）
42	35	児童・生徒の発達段階に沿った人権尊重の視点からの性教育の推進	児童・生徒の発達段階に応じて、男女の成長の違いや生命誕生の仕組みを学習し、児童・生徒が男女対等の立場で、互いの人権を尊重し合う教育を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	各学校での保健の授業等において、発達段階に応じてエイズや性に関する学習を行い、男女が尊重し合う資質を養う教育を実施した。	性の多様性に関する理解をさらに深めるとともに、児童生徒が多様な価値観を尊重できるよう支援していくことが必要と考える。	学習指導要領に沿った保健の授業を実施する中で、男女が互いの人権を尊重する態度を育成するとともに、性の多様性についての理解促進を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各学校において発達段階に応じた学習を実施し、児童生徒が互いの人権を尊重する意識を育む機会を提供できたと考えられるため。	学習指導要領に沿った保健の授業を進めることで、男女が互いの人権を尊重する態度を育成するとともに、性の多様性についての理解促進を進める機会を提供できるため。	保健体育安全課
43	36-1	【新規】 デートDVに関する啓発	デートDVに関する広報、啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	11月に市庁舎1階展示スペースで行われた「女性に対する暴力をなくす運動」において、デートDVに関するチラシの設置及び配布を行った。 5月に東邦大学の実習生にDV、デートDVの講義を行った。	引き続き、若い世代への広報・啓発の方法について検討する必要がある。	様々な機会をとらえた啓発方法を検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	11月に市庁舎1階展示スペースで行われた「女性に対する暴力をなくす運動」において、デートDVに関するチラシの設置及び配布を行った。	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」において毎年チラシ配布等に取り組むのに加え東邦大学においてDVおよびデートDVについて講義を実施した際は若い世代への啓発につながった（令和5年7月14日、令和6年7月31日）。また、職員が県主催のデートDV講座を見学するなど、今後の広報や啓発につながる学習も行った。	多様性社会推進課
44	36-2	【新規】 デートDVに関する啓発	生徒に対して、デートDVに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	各学校における性教育の中で、デートDVについても取り上げるよう依頼した。	各学校で計画している外部講師(助産師等)による講演の中で、デートDVについても触れていただいているが、多くの内容を取り扱うため、深く掘り下げることが難しい。	外部講師による講演前に行う打ち合わせにおいて、デートDVについても講演内容に含まれることを確認し、引き続き取り扱いを依頼する。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	指導や講演の中で触れることはあっても、そこから掘り下げることがなかなか難しいと感じたため。	指導や講演の中で触れているものの、限られた時間の中でこの内容に絞った指導は難しく、掘り下げることがなかなか難しいと感じたため。	保健体育安全課
45	36-3	【新規】 デートDVに関する啓発	生徒に対して、デートDVに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	小・中学生を対象としてデートDVに特化した活動は特に実施していない。	デートDVについては小中学生にとって認識しづらい、あるいは経験がまだ乏しい環境であるので、理解が深まらない現状がある。	ポスター等による啓発を行い、自らが体験した際や見聞きした際の相談窓口などの周知を行っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	デートDVに絞った啓発活動はできていないが、ポスターや人権啓発の一環として引き続き行っていく。	各年度においての啓発活動が進められていないため。	指導課

基本目標	Ⅰ 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
46	37-1	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】相談員のDV研修などの参加回数 【目標値】年2回以上 【7年度実績】こども家庭課：年2回 子育てサービス課：年4回	千葉県主催のDV研修に参加した	特になし	今後も継続して研修に参加していく	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	目標値以上に研修に参加した	毎年複数人が研修に参加し、DV支援や男女共同参画への理解を深めることができたため。	こども家庭課（旧：子育て支援課）
47	37-2													A:貢献できた	A:貢献できた	目標値以上に研修に参加した	目標値以上に研修に参加した	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
48	37-3	各種相談員のDV等に関する相談技術の向上	DV啓発研修や男女共同参画に関する研修への参加により、多様化する相談内容に適切に対応します。	【管理指標項目】相談員のDV研修などの参加回数 【目標値】年1回以上 【7年度実績】2回	相談員のDV研修などへの参加回数2回	スーパービジョン研修や教育相談研修を通して、講師の先生からDVを含めた多様な相談内容についての相談の仕方や接し方、寄り添い方等について指導を受けた。	多様な相談内容に対応するために、相談員の質の向上を図っていく必要がある。そのために、研修会に指導主事をはじめ、心理士（師）、教育相談員等が参加し、必要に応じて広く共有を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	所内で行うケース会議において、共有、検討を行っているため。また、必要に応じて各種関係機関と情報共有も密に行っているため。	一年を通してスーパービジョン研修等で相談ケースの共有や対応方法について検討、協議を行っているため。また、必要に応じて各種関係機関と情報共有を行い、DV等の個に応じた相談内容に丁寧に対応することができたため。	総合教育センター
49	38-1	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	アウトリーチ型相談支援事業としてこどもセンターに出向き、子育て相談の日事業を実施した。	コロナ禍による社会情勢の変化に合わせた相談対応として、積極的なアウトリーチを行うことができた。	引き続き、社会情勢の変化に合わせた相談対応を行い、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。子育て相談の日事業を引き続き実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	こどもセンター等に出向く子育て相談の日事業を実施し、子育て中の親の声を聴くこと、相談に応じることができたため。	毎年同水準の事業を実施できていたため。	こども家庭課（旧：子育て支援課）
50	38-2	DV家庭の子どもへの支援	子どもの養育および発達に関する相談に応じながら、DV家庭の早期発見に努め、虐待が疑われる子どもについて、関係機関との連携により支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	DVや児童虐待について相談があった場合は、こども家庭課や健康支援課等の関係機関と連携を図りながら対応し、体制の構築に努めた。	各職員がDVや児童虐待に関する知識を身につけ相談対応する必要がある。	DVや児童虐待が疑われる状況を把握した際、センター内で情報を共有し適切な支援に繋がるよう取組む。 ・こども家庭課や健康支援課等、関係機関との連携体制の構築に努める。 ・研修などを通じてDVや児童虐待に関する知識向上に努める。 ・相談者が安心して相談できる環境や体制づくりに努める。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	DVや児童虐待などが疑われる状況を把握した際、上司に報告した上で方針を決定し、支援会議等で情報共有を行い適切な支援に繋がるよう取組んでいるため。	相談対応の中でDVや児童虐待が疑われる状況が確認できた場合、センター内で協議し、必要に応じてこども家庭課や健康支援課と情報共有することができているため。	ひまわり発達相談センター
51	39	女性の生き方相談の充実	女性の生き方相談の充実を図るとともに、関連する相談機関との連携を図り、相談者の支援、保護に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	年60回の相談を実施。 相談終了後はカウンセラーから報告を受け、情報共有と連携が必要なケースは速やかに連携を図った。 相談件数 208件（うち新規41 件） 他機関への連携 7件 DV相談件数 49件	引き続き利用者アンケート等を参考に運営方法の見直しを図り、より充実した相談体制を構築する必要がある。	引き続き、相談者が安全・安心に相談のできる環境を整え、より良い相談体制の構築を図る。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	悩みを抱える女性の相談の場として、安全・安心な相談環境の場を整えることができた。	令和2年度～3年度はコロナ渦の影響により相談件数が減少したが、感染対策を図りながら継続して相談を実施して支援に取り組んだため、令和4年度以降は短期間で回復してコロナ渦以前と同等の相談件数となっている。 また、定期的に運用方法の見直しを行い、夜間相談日の拡張及び実施日の変更を行った。	多様性社会推進課
52	40	男性の生き方に対する相談体制の充実	相談者の訴えをしっかり受け止め、必要に応じて専門相談機関などと連携を図りながら相談支援を実施します。また、男性相談の実施について検討します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・男性からの相談 12件	男性からの相談は職員が対応し、千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介している。 相談件数の推移等を見ながら、男性相談の実施について研究する。	本人の話を伺い、必要に応じて関係機関の紹介を行う。 専門相談員による男性相談の実施について検討する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談者の話を伺い、必要に応じて千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介し、状況に応じた相談窓口を案内している。	相談者の話を伺い、必要に応じて千葉県が実施する「男性のための総合相談」を紹介し、状況に応じた相談窓口を案内している。	多様性社会推進課
53	41	健康相談事業の充実	健康な生活ができるよう、必要な情報提供を行います。また、必要に応じて関係機関と連携し、適切な対応をします。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	地区保健活動全体で個々のケースに応じて相談に対応した。こども家庭課（こども家庭センター）、多様性社会推進課、保健所等、関係機関と連携を図りながら対応するように努めた。	複雑化する個々のケースに応じて、庁内他課だけではなく、他機関と連携した相談支援の充実が求められている。	これまでの地区保健活動を継続しながら、関係機関と連携した相談を引き続き実施していく。	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和6年度こども家庭センター設置後、令和7年度は合同カンファレンス実施等によりこども家庭課との情報連携が前年度よりさらに拡充し、個々のケースに相談対応できた。	地区保健活動で対応した相談について、他課との連携が必要と判断したケースについては、課内での対応検討、さらに、他課と情報連携やカンファレンス実施を通して、複数の課にまたがって合同で相談対応することができた。	健康支援課

基本目標	Ⅰ 人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	②DV被害者が安心して相談できる体制の整備《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次期計画期間における 具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度 評価の理由	総合評価の理由	
54	42	高齢者への情報提供と相談の充実	市内5カ所の高齢者相談センター(地域包括支援センター)において、虐待や暴力などを受けている人々についての相談に対応し、情報提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を随時、行った。	高齢者虐待の認識不足や、家族間の関係性から生じる問題について、介入の困難さがある。	相談窓口の周知や、虐待についての啓発に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	虐待防止に向けた情報提供に努めた。	当事者や介護事業者、近隣住民等からの相談に応じ、必要な情報収集を行うとともに、虐待防止に向けた情報提供を行った。 また、相談業務に当たる職員が研修を受け、適切な対応を行った。	高齢者支援課
55	43	【新規】 障がいのある人への情報提供と相談の充実	関係課と連携を図りながら、障がいのあるDV被害者についての相談に対応し、情報提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	障がい者虐待防止センターとして、配偶者等からの虐待を受けた障がいのある人に対し、相談等支援のに応じた。	本人の心身の状況を踏まえた支援を実施していくにあたり、困難課題を持つ方については、長期的な支援を要することになる。	関係課及び関係機関等と連携し、本人の意向を踏まえ、支援に必要な情報提供に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	随時本人の相談にのることが出来る旨を伝えたり、相談にのることによって、問題解決に取り組むことが出来、本人の安心に繋がった。	随時本人の相談にのることが出来る旨を伝えたり、相談にのることによって、問題解決に取り組むことが出来、本人の安心に繋がった。	障がい福祉課
56	44	DVに関する相談窓口の周知	配偶者暴力相談支援センター等のDV相談窓口について、チラシ等の配布や広報紙、ホームページ等の掲載により周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	DVや暴力に関する相談窓口の案内を広報習志野11月1日号に掲載。女性に対する暴力をなくす運動期間にパネル展示を行い、相談窓口の周知を行った。	DVや暴力に関する情報や、相談窓口の案内について、広く周知する必要がある。一方で、加害者に窓口情報が知られるリスクもあるため周知方法について配慮する必要がある。	様々な機会や場所をとらえた周知方法を検討する。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	DVや暴力に関する相談窓口の案内を広報習志野11月1日号に掲載。女性に対する暴力をなくす運動期間にパネル展示を行い、相談窓口の周知を行った。	広報紙による啓発の他、DVや暴力に関する相談窓口の周知を目的としたパネル展示、市庁舎トイレ等にDV相談ナビの情報の貼付など、情報提供を行った。なお周知する際は、加害者に被害者の居場所を知られる恐れに配慮して、相談窓口の受付先は伝えるが実際の相談場所は受付してから相談者を案内する、先述の市庁舎トイレ等の情報の添付の際はそれぞれ性別による別の相談先の案内を掲示することで相談先について互いに積極的には知られないようにする、等を工夫した。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	③DV被害者の生活再建に向けた支援

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
57	45-1	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	令和7年度DV被害者の緊急一時保護の実績なし。 DV相談の対応として、生活相談課、高齢者支援課、こども家庭課、警察署、シェルター等と連携し対応した。 令和4年度から開始した配偶者暴力被害者緊急避難支援（緊急避難時に一時的に必要な交通費・宿泊費・食費の支給）による支給実績なし。 DV防止推進担当課長会議にてDV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図った。	緊急避難支援の制度について関係各課への周知を図る。	緊急一時保護の申し出があった際は、個々の状況に応じて関係各課や外部機関と連携を取りながら支援を行う。 緊急避難支援費用の申し出があった際は状況を確認し、適切な支給を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	緊急一時保護の申出があった際に、関係各課及び外部機関と連携を図りながら適切に対応している。 DV相談の対応として、生活相談課、高齢者支援課、こども家庭課、警察署、シェルター等と相談・連携し対応した。また、DV防止推進担当課長会議にてDV・虐待等被害者への各課の対応について共有を図った。	緊急一時保護の申出があった際に、関係各課及び外部機関と連携を図りながら適切に対応している。（実績：令和5年度1件。令和2年度1件） また、令和4年度から開始した配偶者暴力被害者緊急避難支援（緊急避難時に一時的に必要な交通費・宿泊費・食費の支給）により、個々の状況に応じた避難支援を実施できるような相談体制を整備できた。（支給実績：令和5年度1件（食費1,000円））。	多様性社会推進課
58	45-2	緊急保護を求めるDV被害者への支援	関係機関との連携を取り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	関係機関との連携を取り、被害者を迅速にシェルター等につなぐ支援を行った。	児童相談所・シェルター・警察等の関係機関との連携強化が必要。	各関係機関との連携を図り、被害者を一時保護につなぐ等の適切な支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談があった際に関係機関と連携をとり、迅速かつ適切な支援ができたため。	毎年迅速な対応を実施できたため。	こども家庭課（旧：子育て支援課）
59	46	DV被害者支援制度についての情報提供	DV被害者を支援する制度について、被害者の状況に応じた情報提供や証明書の作成など自立に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	住民税非課税世帯生活支援給付金の支給にあたり、DV等被害の確認証の発行を行った。（令和7年度3件）	住民税非課税世帯生活支援給付金の確認証の発行について、国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。 また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行の希望があった場合は、窓口等の情報提供を行う必要がある。	DV被害者等が必要とする証明書等の発行について、窓口等の情報提供を行う。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	住民税非課税世帯生活支援給付金における確認証の発行について国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。 また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行希望があった場合は、関係機関を案内し、情報提供を行った。	住民税非課税世帯生活支援給付金及び電力・ガス等価格高騰緊急支援給付金における確認証の発行について国からの通達に迅速に対応し、発行を行った。 また、DV被害者等が必要とする証明書等の発行希望があった場合は、関係機関を案内し、情報提供を行った。	多様性社会推進課
60	47	生活困窮に関する相談支援	生活に困窮するDV被害者に対し、らいふあっぷ習志野において、相談に応じます。生活保護による支援が必要な場合は、生活保護制度につなぎます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	DV及びストーカー被害を受けている相談者の避難支援を行った。	逃げたいとの訴えあるも、一時避難所の確保が困難であった。	年間の件数的には多くはないが、緊急性のある事なので、最低限男女一部屋ずつのシェルターの検討が必要と考える。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	シェルターが利用できなかった日については、別途利用できる事業を検討し、利用した。	シェルター利用にかかる調整に苦慮した。シェルターが利用できない日については、その時点で利用できる事業を利用・活用した。	生活相談課
61	48	高齢者への自立支援	養護者（配偶者や家族など）からの虐待を受けた高齢者の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案は生じなかったが、介護サービス利用等を支援した。	高齢者施設の空き室の確保が困難になっているため、即日の保護が厳しい状況になっている。各施設や関係機関との連携と情報共有が、ますます必要となっている。	引き続き、関係機関との日頃の連携を強化し、迅速な判断を行い、適切な対応をしていく。また、虐待に関する周知について努めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	関係機関との日頃の連携を強化し、適切な対応を心掛けた。	対象者やその家族に対し、生活上の助言等を行い、緊急的に避難を要する事案については、一時的な施設利用の支援についてを常に視野に入れている。	高齢者支援課
62	49	障がいのある人への自立支援	養護者（配偶者や家族など）からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用も含め支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	養護者（配偶者や家族など）からの虐待を受けた障がいのある人の自立に向けて、施設利用に繋げる支援を行った。	施設利用については、本人の意思確認を行う必要や施設との調整があることから、支援が長期化し易い傾向があった。	関係機関と連携を図り、虐待の早期解決に向け、本人の意向を踏まえ、支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	本人の意向を踏まえ、支援を実施出来た。	本人の意向を踏まえ、支援を実施出来た。	障がい福祉課
63	50	住宅に関する情報提供	DV被害者が新たな生活の場を見つけるため、市営、県営住宅などの公営住宅の優先入居などに関する情報を提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市営住宅の募集において、DV被害者に応募資格がある旨を周知した。DV被害者及び相談窓口担当課より依頼があった際の案内や、可能な範囲での情報提供を行った。	特になし。	情報提供については、継続して行い、今後の市営住宅応募資格について、関係機関等を通じて、募集制度の周知に努める。 また、らいふあっぷ習志野等外部機関との連携も深めていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	窓口や電話での相談対応をし、市営、県営住宅の制度案内ができたため。	DV被害者に応募資格がある旨を周知していたが、市営住宅の募集において、応募実績が少なかったため。	住宅課

基本目標	Ⅰ人権が尊重される社会づくり
課題	4 配偶者・パートナーの間に生じる暴力(DV)の防止と対応
施策の方向	④DVの防止と対応のための関係機関等との連携・協力

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績 (具体的な内容)	事業実績における課題	次期計画期間における 具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	令和6年度 の貢献度	令和7年度 の貢献度	**総合評価**	令和7年度 評価の理由	総合評価の理由	
64	51	庁内関係部署との連携	DV防止推進関係課長会議の開催や庁内関係部署との連携を図り、情報の提供や共有に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	DV業務にかかる関係課長で構成する「DV防止推進関係課長会議」の開催(令和7年9月30日)。議題として、「第4次男女共同参画基本計画(素案)について」では計画の概要を共有、「令和6年度DVに関する相談実績について」では実績の報告を行った。また、「DV虐待等被害者への各課の対応フローチャート」と「住民基本台帳支援措置対象者の情報漏えい発生時の対応とフローチャート」の確認、多様性社会推進課におけるDV等相談業務の若年化・複雑化について情報共有、等を行った。	DV・虐待等や情報漏えい時について は迅速、適切に対応を行う必要がある。フローチャートについて、定期的に庁内への周知を行い、適切な対応を行う必要がある。また、配偶者暴力避難支援についても関係各課へ周知を図る必要がある。	DV等被害者への適切な対応を図るため、情報共有、庁内周知に努める。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	・DV・虐待等の対応について、フローチャートを共有し、関係課との連携強化を図った。また、「DV防止推進関係課長会議」を通じて、庁内へ周知した。	DV・虐待等の対応について、フローチャートを共有し、関係課との連携強化を図った。また、「DV防止推進関係課長会議」を通じて、庁内へ周知した。また、DV等被害者におけるマイナ保険証のオンライン資格確認について、情報共有を図った。	多様性社会推進課
65	52-1	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	下記の連絡会議等へ参加。 ・男女共同参画センター等連絡会議(令和7年5月27日) ・令和7年度市町村男女共同参画担当課長会議及び市町村多様性尊重担当課長会議(令和7年8月19日)(オンライン) ・女性支援・児童虐待相談担当職員研修(Ⅰ部)(令和7年9月24日) ・令和7年度DV被害者支援連絡会議(令和7年10月21日) ・令和7年度ちば男女共同参画行政担当者連絡会議(令和8年2月12日)(オンライン) ・令和7年度第3回千葉県男女共同参画推進本部幹事会及び市町村男女共同参画担当者研修会(令和8年3月19日)(オンライン)	引き続き連絡会議に参加し情報共有を図るとともに、関係機関との連携についてに検討する必要がある。	関係機関との連携について検討する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	県等が主催する連絡会議等へ出席し、他自治体及び他機関の業務や支援方法について積極的に情報収集を行い、必要に応じてその内容を連携する庁内関係部署の情報提供を行った。	県等が主催する連絡会議等へ出席し、他自治体及び他機関の業務や支援方法について積極的に情報収集を行い、必要に応じてその内容を連携する庁内関係部署の情報提供を行った。 また、DV等の相談を受けた際に、個別の事案に応じて警察などの庁外関係機関と連携および情報共有を行った。	多様性社会推進課
66	52-2	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	県主催の連絡会議に出席したほか、ならしの子どもを守る地域ネットワークにおいて情報交換に努め、児童相談所、警察、民生委員などと積極的に連携を図った。	関係機関(児童相談所、警察、民生委員・児童委員など)との情報交換の際は最新の情報を取得することが必要。	引き続き、県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各連絡会に出席し、情報収集に努めた。ならしのこどもを守る地域ネットワークの会議では情報を共有したため。	関係各所との情報共有や連携を継続できているため。	こども家庭課(旧:子育て支援課)
67	52-3	庁外関係機関との連携	県主催の連絡会議の出席により、情報交換に努め、県、警察、民生委員・児童委員などと積極的に連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	多様性社会推進課から配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	多様性社会推進課から配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。 地域住民と行政のパイプ役として活躍している民生委員児童委員に有益な情報を提供するよう努め、常に連携強化を図ることができた。	引き続き、連携を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	多様性社会推進課から配布された県のDV相談カード及び県のDV啓発チラシを、各地区の民生委員児童委員に配布し周知した。	健康福祉政策課

基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	1　政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	①市政における女性の参画の推進《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
68	53-1	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・「習志野市審議会等の設置及び運営等に関する指針」に基づき、令和7年12月に総務部次長、協働経済部次長の連名で、庁内各部署が所管する審議会等において女性委員の積極的な登用依頼を通知。 ・女性委員のいないまたは1割未満の担当課には女性登用の進まない理由及び今後の見通しについて調査を実施した。 （令和7年4月1日現在） ・女性委員のいないまたは1割未満の審議会等　8件 ・女性委員登用率　33.4%	庁内各部局に、審議会等の女性委員登用に関する依頼を通知しているが、目標値40%に達していない。 今回の調査結果から、委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き女性委員の登用を要請する必要がある。	引き続き女性登用がされない審議会等を所管する担当課に、その理由や今後の方向性等について、実態を確認する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	庁内各部局に、審議会等の女性委員登用に関する依頼を通知しているが、目標値40%に達していない。委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き協力を要請する必要がある。	庁内各部局に、審議会等の女性委員登用に関する依頼の通知を行っており、令和5年度に30%には達したものの、目標値40%には達していない。委員の選定方法などにより女性登用が難しい状況である審議会もあり、引き続き協力を要請する必要があるため。	多様性社会推進課
69	53-2	【女性活躍】 審議会などへの女性委員の登用の推進	各種審議会等委員への女性の積極的な登用を推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	女性委員の登用率等を定めている「習志野市審議会等の設置及び運営に関する指針」の周知を図った。	審議会によって、男女比に偏りがある。	引き続き、指針の内容を全庁的に周知していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	令和7年4月1日時点の女性登用率が33.4%となったため。	令和2年4月1日時点の女性登用率が29.4%であったが、令和7年4月時点では33.4%まで増加しており、目標である40%には達していないものの一定の成果があったため。	総務課
70	54	男女共同参画の視点を持った人材の情報提供	男女共同参画の視点を持った人材の情報を収集し、提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・令和7年度における情報提供依頼なし。	・平成22年3月より取り組んでいる人材リストの整備については、これまで17件の情報提供を行ったが、活用に至っていない現状である。 ・3年に一度リストの更新を行っているが、令和5年度に行った更新作業では、21名から7名に減少していることから、人材リストの在り方について、検討を行う必要がある。	人材リストの整備の在り方について再度検討する。	B:あまり貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	リストの活用がなく、人材リスト整備の在り方について検討が必要なため。	リストの活用がなく、人材リスト整備の在り方について検討が必要なため。	多様性社会推進課
71	55	開かれた議会への取り組み	市民により一層身近で親しみやすい市議会を目指し、ホームページや市議会報の改善に取り組むとともに市議会報をより多くの人に読んでもらえるよう努めます。	【管理指標項目】 市議会報の発行回数 【目標値】 年4回 【7年度実績】 年4回	ホームページのほかLINEを活用し、市民が必要とする情報の速やかな発信に努めた。 また、市議会報のポスティングサービスについて引き続き広報習志野等により周知を図った。 さらに、市議会報をより多くの人に手に取ってもらえるよう、議会報編集委員会での協議を経て表紙レイアウトを刷新した。 そして、開かれた議会をより実現するため、傍聴規則の改正を行い、傍聴しやすい環境の整備を図った。	市議会報は原則として定例会の開催に伴い発行するため、年４回発行は必然的に達成される。発行を管理指標とするのであれば、回数でなく、例えば市政への女性参画の推進に結び付く内容の掲載等が考えられるが、市議会報の性質上、掲載内容に係る裁量権は少なく、目標設定が難しいことが課題である。	市議会報については見出しの工夫や、一般的用語を使用するなどし、議会活動を分かりやすく伝えることに努める。 また、ホームページやLINEを活用し、引続き市議会活動のタイムリーな発信に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	前年度より継続して議会の情報発信に取り組むとともに、以前より課題とされていた議会報のレイアウト刷新・傍聴規則の改正を実現できたことにより、目に見える形での改善を達成できたことによるもの。	市議会報の発行日に市議会議員が駅前配布を行い、市議会を身近に感じる機会を設けることができたこと、また、広報習志野及びホームページを利用してポスティングサービスの周知を図ることができたことによるもの。	議会事務局
72	56	【女性活躍】 市役所女性職員の活躍推進	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき、女性が働く職域の拡大を図ります。 また、指導的立場につく女性に対して、各種研修の参加を促進するなど育成・支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	女性職員のキャリアデザイン研修を実施。 （令和7年11月12日,受講者数：24名）	主体的にキャリアを形成することで、仕事に対する意欲を高めていく必要がある。	今後もキャリアデザインに関する研修を実施していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	女性管理職をロールモデルに意見交換を実施し、将来のキャリアについて考える研修の場を提供できたため。	女性の中堅職員を対象に自らの将来のキャリアについて考える機会を提供できたため。	人事課

基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	②事務所等における多様性（ダイバーシティ）の促進《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
73	57-1	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度や女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・令和7年5月「多様性を考える講座」（29人）、同年6月「男女共同参画週間事業」（39人）、同年 8月「男女共同参画啓発講座」（11人）にて配布。	・引き続き、制度周知に向けた取り組みを検討していく必要がある。	パンフレットを市民向けの講座等で配布し、市民への周知に活用する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを、各種講座で配布を行った。	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを、各種講座で配布を行った。	多様性社会推進課
74	57-2	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度や女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	「えるぼし」について、ホームページの関連リンクに厚生労働省の内容を記載している。	周知方法がチラシの配架やホームページへの掲載程度しかなく、なかなか制度の周知や支援を行える場面がない。	引き続き、女性活躍推進法に基づく千葉県男女共同参画推進事業所表彰認定制度について、関係機関と連携を図りながら、周知を行う。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	窓口にチラシを配架する程度の周知活動しかできなかったため。	周知活動を行えた年もあったが、周知や支援活動を行えた年ののほうが少ないため。	産業振興課
75	57-3	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	高齢者の就業を支援する機関（シルバー人材センター）に市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架。また、同センターの女性会員増のため、通常の入会説明会に加え、女性限定の説明会開催の周知を市広報紙で実施。	シルバー人材センターは女性会員が少ない中、高齢化による健康面の理由で会員数自体が減少している。全体的に会員数の増加が課題である。	シルバー人材センターでは女性会員増加を目指し、音楽会などのイベントを通してセンターをPRしており、入会説明会と併せてイベント案内も市広報紙にて周知する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	シルバー人材センターの女性会員増のため、女性限定の説明会開催の周知を市広報紙で実施した。	シルバー人材センターに市で作成した認定・表彰制度のチラシを配架しているほか、同センターの女性会員増のため、通常の入会説明会に加え、女性限定の説明会開催の周知を市広報紙で実施した。	高齢者支援課
76	57-4	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市内障害福祉サービス事業所への情報提供や窓口にパンフレットを配架し、周知を図った。	周知する機会が乏しい。	継続して市内障害福祉サービス事業所及び市民などに対して周知を図っていく。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市内障害福祉サービス事業所及び市民へ周知できた。	周知する機会は乏しいが、市内障害福祉サービス事業所及び市民へ周知できた。	障がい福祉課
77	57-5	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、仕事と介護の両立支援「トモニン」等の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	窓口に制度に関するチラシを配架した。	周知方法がチラシの配架やホームページへの掲載程度しかなく、なかなか制度の周知や支援を行える場面がない。	引き続き、男女共同参画センター等、関係機関と連携し、市内事業所、市民に向けて周知を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	窓口にチラシを配架する程度の周知活動しかできなかったため。	周知活動を行えた年もあったが、周知や支援活動を行えた年のほうが少ないため。	産業振興課
78	57-6	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度「くるみん、プラチナくるみん」や、習志野市子育て支援先端企業認証制度の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	習志野市子育て支援先端企業認証制度について、ホームページコンテンツへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口に設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	千葉県の「社員いきいき元気な会社宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が継続している。	育休制度等の充実が進み、登録制度の意義は当初より大きく減少しているものと考えられる。 そのため、次期計画では事業掲載を見送ることも含めて検討したい。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかったため。	令和2年度から令和7年度にかけ、評価が「貢献できなかった」であったため。 令和7年度の登録状況においても千葉県全体で15件のみであった。当事業の登録状況や内容から次期計画については検討の必要性があると思われる。	こども政策課
79	57-7	【女性活躍】各種表彰・認定・登録・認証制度の周知	市内事業所や市民などに対し、次世代育成支援対策推進法に基づく認定制度「くるみん、プラチナくるみん」や、習志野市子育て支援先端企業認証制度の周知を行います。また、商工会議所などの関係機関と連携し、認定に向けた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	窓口に制度に関するチラシを配架した。	周知方法がチラシの配架やホームページへの掲載程度しかなく、なかなか制度の周知や支援を行える場面がない。	引き続き、男女共同参画センター等、関係機関と連携し、市内事業所、市民に向けて周知を行っていく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	窓口にチラシを配架する程度の周知活動しかできなかったため。	周知活動を行えた年もあったが、周知や支援活動を行えた年のほうが少ないため。	産業振興課
80	58	【女性活躍】女性活躍、ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所に対する入札制度における優遇（インセンティブ）の付与	女性の活躍やワーク・ライフ・バランス等の実現に向けて、積極的に取り組む事業所の受注機会を増大する公共調達のしくみを導入します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	令和7年度は総合評価落札方式での入札はなかった。	令和7年度は総合評価落札方式での入札はなかった。	（総合評価落札方式での入札事例がほとんどないため、次期計画でこの項目は削除する予定です。）	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	総合評価落札方式での入札がなかったため	総合評価落札方式での入札がなかったため	契約検査課

基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画できる環境づくり
課題	1 政策・方針決定における女性の参画の推進
施策の方向	②事務所等における多様性（ダイバーシティ）の促進《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
81	59	【女性活躍】 認定（表彰）を受けた優れた事業所の取り組みに対する情報発信	認定（表彰）された事業所やその取り組みを、好事例として市民、事業所、学生などに向けて幅広く情報発信します。また、このような取り組みを進める事業所を増やします。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・令和7年5月「多様性を考える講座」（29人）、同年6月「男女共同参画週間事業」（39人）、同年 8月「男女共同参画啓発講座」（11人）にて配布。	・引き続き、制度周知に向けた取り組みを検討していく必要がある。 ・認定企業を市ホームページの他、情報紙等に掲載する等PRに努め、制度利用にメリットを持たせるよう工夫する必要がある。	パンフレットを市民向けの講座等で配布し、市民への周知に活用する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを、各種講座で配布を行った。	認定・表彰を受けている市内の事業所一覧を掲載した認定・表彰制度のパンフレットを、各種講座で配布を行った。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅱ　誰もがあらゆる分野に参画し活動できる環境づくり
課題	2　まちづくりにおける男女共同参画の促進
施策の方向	①地域活動における男女共同参画の促進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
82	60	町会・自治会などの活動への男女の共同参画意識の啓発および意思決定への女性の参画促進	連合町会連絡協議会との連携のもと、町会・自治会などの活動の啓発と男女共同参画意識の向上に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	連合町会連絡協議会及び連合町会への財政的支援として、補助金を交付した。 自治功労者顕彰式において、各町会より男女問わず推薦があり、15名の方々が受賞した。 また、連協事務局として、連合町会連絡協議会主催視察研修等への参加を働きかけ、行政問題学習会では、市内各地域から129名の参加があり、市の将来都市像について学習する機会を設けた。	地域におけるデジタル媒体の活用を引き続き進めていく。今後も地域活動の簡易化・効率化につながる部分は後押しできるよう、ニーズに基づき地域に根付くデジタル化を検討し、推進していく。	町会・自治会等に通知する参加型の行事の出欠確認や調査の回答方法に、電子回答を追加する。 回答率が上がるよう、地域役員が集まる連合町会連絡協議会総会等での周知をおこなう。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	地域における電子化推進については、これまでのアナログ方法と併用し、デジタル媒体に馴染みのない方々も取り残さないよう丁寧に対応できた。	地域役員として活躍いただいた方へ向けた表彰や、連合町会連絡協議会事務局として女性役員意見交換会などを催し、性別に制限なく、地域にご尽力いただいている方々との交流ができた。	協働政策課
83	61	市民活動団体の支援ならびに市民活動およびボランティア活動の情報提供	市民活動団体を支援するとともに、「習志野市ボランティア・市民活動センター」と連携を図りながら、市民活動およびボランティア活動の情報提供に努め、性別にかかわらず、市民活動に参画できるように促します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	性別等にかかわらず市民活動に参画できるよう、市民協働インフォメーションルームや協働政策課において情報提供を行った。 また、市民活動団体の継続を支援する為の講座や、地域の担い手掘り起こしのためのプロボノ事業等を実施した。	会員の高齢化に伴い、新規会員の募集や新たな公益的な事業に取り組む団体が少なくなっている。	引き続き、市民等からの問い合わせに対して年齢や性別にかかわらず適切に対応する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野への掲載、イベント・講座の開催時に地域情報ポータルサイトを周知することにより、市民活動に関する情報提供を効果的に行うことができた。	広報習志野への掲載、イベント・講座の開催時に地域情報ポータルサイトを周知することにより、市民活動に関する情報提供を効果的に行うことができた。	協働政策課
84	62	ボランティア活動の普及・啓発	公民館利用サークルが、男女ともに日々の活動成果を地域・社会に還元できるように支援します。また、学習圏会議の活動において男女ともにボランティア活動に参加できるような場を提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・各公民館において、市民文化祭を開催し公民館利用サークルの活動成果を発表場を設けた。 ・公民館で開催するコンサートへの出演、公民館講座の講師など、活動の成果を地位に還元した。 各公民館地区学習圏会議において、地域住民や中学生など多くのボランティアが参加し、コンサートや地域行事を実施した。	各館のサークルは高齢化により会員数が減少しており、また、各公民館地区学習圏会議に新たに参加する人が少なく、後継者不足となっている。	引き続き、文化祭等の事業を継続するとともに、各サークルや地区学習圏会議の活動をPRし、会員増を目指す。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	サークル活動や学習圏会議の活動を支援することができたため。	各公民館で文化祭を開催し、活動成果発表の場とし、多くの来場者があった。 また、各公民館地区学習圏会議においては、コンサートや地域行事を開催し多くの市民の参加があった。	公民館

基本目標	Ⅱ誰もがあらゆる分野に参画活動できる環境
課題	2 まちづくりにおける男女共同参画の促進
施策の方向	②防災における男女共同参画の促進《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
85	63	男女共同参画の視点を盛り込んだ防災体制の整備	女性および性の多様性に配慮した地域防災計画とするための点検や見直し、ならびに防災用品の整備と避難所運営に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	1. 防災会議の委員に女性6名が参加し、女性の視点を取り入れる体制を整備した。 2. 各避難所配備職員4名のうち、女性1人以上を配置し女性避難者からの意見や避難所でのコミュニケーション確保を整備した。	引き続き、各避難所に女性職員1名以上を配備し、女性の視点から避難所運営ができる体制づくりを行う。男女共同参画の観点から、防災会議の女性委員の割合を増やし、性別と性の多様性を考慮した地域防災計画の修正を行うことが課題である。	引き続き、避難所配備職員に女性を1名以上配備する。防災会議の女性委員の割合を増やすために可能な範囲で各関係機関等に女性の参加を促す。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	防災会議の委員及び避難所配備職員に対する女性の参加体制を引き続き整備した。	防災会議の委員に女性の参画を促し、女性の視点を取り入れる体制を整備した。 避難所配備職員について、女性目線での避難所運営の必要性から、各避難所に1名以上の女性職員を配備した。 また、女性に配慮した備蓄品として、生理用品、プライバシーを確保するためのパーテーションや着替え用テント等を備蓄している。	危機管理課
86	64	【新規】 防災対策における男女共同参画の意識啓発	市民や市職員に対して、防災対策における男女共同参画や性の多様性についての意識啓発を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市民や職員への意識づけについて、自主防災組織リーダー研修会や、総合防災訓練を実施し、意識啓発を行った。	引き続き、訓練等を通じて、防災の取り組みにおける男女共同参画や性の多様性の重要性について、啓発していく必要がある。	訓練や研修会等の機会を活用し女性視点や性の多様性に関して、避難所運営の課題点を踏まえ意識啓発を行います。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	昨年度に引き続き、総合防災訓練にて、(一社)千葉県助産師会と連携し、「母子避難訓練」を実施した。	総合防災訓練及び各種説明会等をとおして、女性に配慮した避難所運営の意識啓発を行った。また、防災訓練において、(一社)千葉県助産師会と連携し、妊産婦の疑似避難体験や、乳児との避難等について訓練を実施した。	危機管理課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1　働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	①雇用の分野における男女の機会均等、待遇改善の促進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
87	65-1	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	パワーハラスメント防止対策の義務化に関すること、千葉県内における最低賃金が改正されたことの周知をホームページや広報紙等で周知を図った。	特になし。	引き続き雇用分野に関する法律や制度について周知を継続する。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	雇用分野に関する法律や制度について、周知することができた。	例年、雇用分野に関する制度の周知依頼が関係機関より多数あり、可能な限り、広報誌やホームページへの掲載やチラシの配架などを行っているため。	産業振興課
88	65-2	雇用分野における法律などに関する情報の提供	関係機関と連携して、「労働基準法」や「男女雇用機会均等法」、「労働者派遣法」等の雇用分野の法律や制度の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第61号において、出生時育児休業（産後パパ育休）および令和7年4月に開始した給付金制度の記事を掲載した。	引き続き、関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う必要がある。	関係機関と連携して、雇用分野における法律などに関する情報提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第61号において、出生時育児休業（産後パパ育休）および令和7年4月に開始した給付金制度の記事を掲載した。	令和4年度には、同年より段階的に施行された育児・介護休業法について、庁内啓発紙「ピーナ通信」で職員に啓発したほか、同法にて新設された出生時育児休業についての概要を学ぶ講座を開催した。 また、令和6年度には、産業振興課と共同開催した男女共同参画週間事業・労働講演会において、商工会議所の協力のもとワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる市内事業所を紹介してもらい、その社員が講演会にて事業所の取り組みや子育てとの両立等について発表した。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1　働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	②農業従事者、自営業等における男女共同参画の促進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
89	66	農業従事者における家族経営協定締結の推進	家族で農業経営に携わる各世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて家族間で取り決める「家族経営協定」の締結を推進します。	【管理指標項目】 農業従事者における家族経営協定締結数 【目標値】 現計画中に14戸 【7年度実績】 新規なし	周知していたが、家族経営協定の締結には至らなかった。	農業者自体が減少している中、締結することが困難となっている。	引き続き制度について周知していく。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	C:貢献できなかった	A:貢献できた	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	新規の締結協定がなかったから。	計画年度中に家族経営協定を14戸締結する目標を達成できなかったため。	産業振興課
90	67	【女性活躍】 農業従事者などにおける男女の経営参画の啓発	家族経営を基本としている農業従事者などにおいて、男女が対等に経営に参画しやすい環境づくりを進めます。	【管理指標項目】 農業従事者などに対する男女の経営参画についての研修、啓発の回数 【目標値】 年1回以上 【7年度実績】 1回	啓発は行ったが、研修等を行うことができなかった。	女性農業者が減少している中、男女の研修・啓発の場の確保が困難になってきている。	引き続き女性の経営参画の周知を行っていく。	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	啓発は行ったが、研修等を行うことができなかった。	市内農業者の会議の場において、家族経営協定に関する説明、啓発を行ったが、女性農業者が減少していることもあり、実績として効果があまりなかったため。	産業振興課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	③女性の起業、再チャレンジ支援

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
91	68	【女性活躍】 職業能力・技術を習得する学習情報の提供	就労セミナーの開催、就労相談・就労情報の提供を行います。	【管理指標項目】 就労を支援するセミナー等の女性参加者数 【目標値】 10人以上 【7年度実績】 67人 内訳 習志野市主催幹事回:37人 船橋市主催幹事回:30人	本市と千葉県ジョブサポートセンター及び近隣5市（市川市、船橋市、八千代市、鎌ケ谷市、浦安市）と共催で女性向け再就職支援セミナーを実施し、女性を取り巻く社会環境や履歴書の書き方等の再就職に役立つスキルの提供を行った。 主催幹事市として1回 船橋市との共催として1回 計2回実施	特になし	次年度においても、引き続き女性向けのセミナーを実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	共催6市で広報、ホームページ等にて積極的に周知した結果、目標を大きく上回る女性が参加したため。	例年定年を上回る、申し込みがあり、継続して支援を行うことができたため。	産業振興課
92	69	【女性活躍】 創業に関する情報提供	市内で、創業・開業しようとする市民に対する資金融資などに関する情報の提供を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	産業振興課窓口及びホームページにて習志野市中小企業資金融資制度の案内を行うとともに、習志野市商工会議所に創業に関するワンストップ相談窓口を設置し、創業に関する相談を随時受け付けた。 創業をサポートするため、「ならしの創業塾」の開催や千葉県信用保証協会共催により「創業スクール」を実施した。 その他、千葉県等が主催する創業イベントやセミナー開催時に、多様性社会推進課にもチラシの配架を依頼した。	特になし	引き続き、創業しようと考えている市民に対して、資金融資等に関する情報の提供を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	ならしの創業塾や創業プレセミナーの開催や習志野商工会議所への業務委託によりワンストップ相談窓口で随時相談を受け付けた。	習志野商工会議所と連携を図り、ならしの創業塾についての運営を行うことで多くの女性に対して創業に関する知識の普及啓発を行えたため。 また、創業に関するイベントの実施時には産業振興課窓口だけでなく、多様性社会推進課と協力し、情報提供を行えたため。	産業振興課
93	70	【女性活躍】 創業を支援する講演会などの開催	商工会議所などと連携し、創業に関する相談窓口の設置や講演会、創業塾などを開催し、市内での創業を支援します。	【管理指標項目】 創業を支援するセミナー等の女性参加者数 【目標値】 5人以上 【7年度実績】 53人 ①ならしの創業塾12人 ②創業スクール30人 ③創業機運醸成事業11人	産業振興課窓口及びホームページにて習志野市中小企業資金融資制度の案内をおこなうとともに、習志野市商工会議所に創業に関するワンストップ相談窓口を設置し、創業に関する相談を随時受け付けた。 創業をサポートするため、「ならしの創業塾」の開催や千葉県信用保証協会共催により「創業スクール」を実施した。 その他、創業に無関心な学生等を対象として創業を将来的な選択肢の一つに加えてもらえるように創業機運醸成事業を実施した。 ・市主催　ならしの創業塾　講義等6回（年1回） ・千葉県信用保証協会共催　創業スクール 講義等4回（年2回）	特になし	ならしの創業塾や創業スクールについては現状でも多くの女性が参加しているため、引き続き継続する。 創業機運醸成事業については、安定したより集客を図るため、習志野商工会議所と協力し、適宜、事業内容を見直し実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野商工会議所や千葉県信用保証協会と連携を図り多くの女性対して創業に関する知識の普及啓発を行えたため。	継続して、習志野商工会議所や千葉県信用保証協会と連携を図り多くの女性対して創業に関する知識の普及啓発を行えたため。	産業振興課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	1 働く場における男女共同参画の促進
施策の方向	③女性の起業、再チャレンジ支援

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
94	71	【新規】【女性活躍】就労や再就職に関する情報提供	ふるさとハローワーク等と連携し、就労や再就職に関する情報の提供を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	国と共同で設置している「ふるさとハローワークならしの」及び国と船橋市が共同で事業を実施している「ふなばし地域若者サポートステーション事業」に参画し、若年無業者の職業的自立を促すことを目的として、就労や再就職に関する情報提供を行った。 本市と近隣市、千葉県ジョブサポートセンターが実施している再就職支援セミナーについて、多様性社会推進課、ふるさとハローワークならしの、ハローワーク船橋に依頼し、チラシを配架した。 ふなばし地域若者サポートステーションが実施している、若年者向けの企業説明会である「合同就職フェア」について市内公共施設やふるさとハローワークにならしのチラシを配架した。	特になし	引き続き、ふるさとハローワークならしのや、ふなばし地域若者サポートステーション等と連携し、若年無業者や再就職を求めている方に対し情報提供や就労支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	ふるさとハローワークならしのやふなばし地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し着実に事業を実施することで女性に対して就労に関する情報提供を行うことで就労支援が行えているため。	就労や再就職に関する情報提供について関連機関と連携し、セミナー開催や合同企業説明会の後援などを通じ積極的な情報提供を行えた。	産業振興課
95	72	【女性活躍】再チャレンジ支援講座の実施	就労を支援する講座などを実施します。	【管理指標項目】 女性のための再チャレンジ支援講座の開催回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年3回	・令和7年11月に「女性のための再チャレンジ支援講座」を全3回で開催。「第１回　自己アピール力のアップ」「第2回　会社の求める思考力（ロジカルシンキング）」「第3回　未来の働き方に備える！ITのスキルアップ」を実施。	受講者のニーズを把握し、就労支援に向けた講座を開催していく必要がある。	引き続き、令和4年4月に決定した女性デジタル人材育成プランを念頭に置きつつ、デジタル人材育成と就労支援を目的とした講座を開催していく。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	女性が活躍できる社会をめざし、就労を支援する講座を実施。女性デジタル人材育成プランに基づく講座とし、多様な働き方への支援につながった。	女性が活躍できる社会をめざし、就労を支援する講座を実施。 また、講座参加者が学習したい内容を調査し、次年度以降の講座に反映させる等積極的な講座開催を検討している。	多様性社会推進課

第3次　男女共同参画基本計画　事業評価シート

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2　ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	①働く場におけるワーク・ライフ・バランスの促進《重点施策》

					事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										
No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	担当課
96	73-1	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	関係部署と連携し、働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む市民を増やします。（市民）	【管理指標項目】 市民に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年2回	令和7年8月開催の男女共同参画啓発講座において、ワーク・ライフ・バランスの内容を含んだ家事育児の分担に関する講座を開催した。 また、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第60号において、ワーク・ライフ・バランスの内容を含む「男女共同参画に関する市民意識・事業所調査」（令和6年度実施）の記事を掲載して市民へ広く配布した（18,000部）。	様々な手法で継続的に意識啓発を行っていく必要がある。	本課が主催する講座等において、ワーク・ライフ・バランスにつながる課題をテーマとして開催するよう調整していく。	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	令和7年8月開催の男女共同参画啓発講座において、ワーク・ライフ・バランスの内容を含んだ家事育児の分担に関する講座を開催した。 また、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第60号において、ワーク・ライフ・バランスの内容を含む「男女共同参画に関する市民意識・事業所調査」（令和6年度実施）の記事を掲載して市民へ広く配布した（18,000部）。	様々な手法で継続的に意識啓発を実施した。令和4年度においては、市庁舎1階展示スペースにて、前年実施したワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査の報告とともにワーク・ライフ・バランスについてパネル展示を行った。令和6年度においては、市制施行70周年記念の冠事業として「ワーク・ライフ・バランスの推進」をテーマとした講演会を産業振興課と共同開催し、また、商工会議所の協力を得て、講演会を実施することで、広く周知を図った。	多様性社会推進課
97	73-2	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	働き方を見直し、積極的にワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所が増えるよう、関係部署と連携し、必要な働きかけを行っていきます。（事業所）	【管理指標項目】 市内事業所に対するワーク・ライフ・バランスに関する啓発などの回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年3回 内訳 講演会：1回 広報誌：2回	事業所に対し、ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業者が増えるよう、年次有給休暇制度の計画的な取得促進を促すため、広報習志野及び市ホームページにて周知を行った。 　また、令和8年3月にメンタルヘルスに関する講演会を行うことで、事業所に対して普及啓発を行った。令和7年10月1日号掲載　10月は「年次有給休暇取得促進期間」です。	特になし	引き続き関係機関から受けた依頼について着実に実施することで、多くの事業所に対して周知啓発を行っていく。	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	広報習志野、ホームページへの掲載により周知が行えたため。	計画実施年度を通じ、継続して広報習志野、ホームページへの掲載により周知が行えたため。	産業振興課
98	73-3	【女性活躍】 ワーク・ライフ・バランスの意識啓発	職員の時間外勤務の削減や、男性の育児休暇などの取得促進を図るとともに、働き方の見直しに取り組みます。また、市職員へのワーク・ライフ・バランスの意識啓発に取り組みます。（市職員）	【管理指標項目】 市職員に対するワーク・ライフ・バランス研修の実施回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年2回	・在宅型テレワーク勤務制度を本格導入した。（令和7年10月1日施行） ・2～3級職員を対象としたキャリアデザイン研修等においてワークライフバランスに関する講義を実施した。（令和7年9月24日実施）	ワーク・ライフ・バランスの推進の取組と時間外勤務の縮減の相関性が高くない。 一部の職員の勤務体制では利用できない制度もあるので、制度設計の改善は必要になる。	週休3日制やフレックス勤務制度の導入に向けて、研究を進める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	在宅型テレワーク勤務制度の導入により、多様な働き方の実現を推進した。	時間外勤務の縮減は進んでいないが、年次休暇の取得状況は改善傾向にあるため。	人事課
99	74	【女性活躍】 パラレルキャリアに関する講座の実施	本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催し、参加者同士の交流を図りながら、パラレルキャリアを有するいきいきと働く人を増やします。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	令和8年3月にパラレルキャリア講座「手作り名刺で実現する　わたしのキャリアデザイン」を開催。自分自身のパラレルキャリアの探索方法について学習した。	多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する必要がある。	引き続き、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	C:貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	多様な生き方・働き方に向け、本業以外の社会貢献活動などへとつながる講座を開催した。 ・20代から60代という様々な年齢の方に参加いただき、世代間での交流を通して新たな自分を見出すことができる講座とすることができた。	やむを得ない事由がある年度以外は毎年パラレルキャリア講座を開催し、多様な生き方・働き方に向け本業以外の社会貢献活動などへとつながる探索の方法について機会を提供できた。 （R2年度は感染症対策のため中止、R4年度は講師の直前の体調不良により中止） （R3年度は感染症対策のためオンライン講座で開催）	多様性社会推進課
100	75	【女性活躍】 仕事と子育ての両立に関する制度の周知	市内事業所における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに関する啓発を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	【再掲】習志野市子育て支援先端企業認証制度について、ホームページコンテンツへ掲載するとともに、男女共同参画センターが発行している制度周知を図る冊子を窓口に設置し、新規事業者登録の周知を図ったものの、新規登録申請はなかった。	【再掲】千葉県の「社員いきいき元気な会社宣言」など類似の事業もある中、事業者にとって認証に係るメリットが少なく、近年新たな新規登録申請はない状態が継続している。	【再掲】育休制度等の充実が進み、登録制度の意義は当初より大きく減少しているものと考えられる。 そのため、次期計画では事業掲載を見送ることも含めて検討したい。	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	新規登録事業者がなかったため。	【再掲】令和2年度から令和7年度にかけ、評価が「貢献できなかった」であったため。 令和7年度の登録状況においても千葉県全体で15件のみであった。当事業の登録状況や内容から次期計画については検討の必要性があると思われる。	こども政策課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの促進
施策の方向	②固定的な性別役割分担意識の見直しの促進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
101	76-1	【女性活躍】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施	家庭内の男女共同参画を推進するため、固定的な性別役割分担意識を見直す講座などを実施します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施回数 【目標値】 年1回以上 【7年度実績】 年2回	男女共同参画啓発講座（年2回開催）において、令和7年8月開催回では固定的な性別役割分担意識を見直すきっかけづくりとして家族で行う家事・育児の役割分担についての講座を実施し、令和8年1月開催回では災害における固定的な性別役割分担意識を見直す講座を実施した。	性別、年齢に関係なく参加しやすい環境整備について手法を検討する。	手法を検討しつつ、シニア世代の家事参画や父親の育児参画など、性別役割分担意識の見直しにつながる啓発の取り組みを行う。	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	固定的な性別役割分担意識を見直すきっかけづくりとして、家族で行う家事・育児について取り上げ、固定的な性別役割分担意識を見直す講座を実施した。	男女共同参画啓発講座において、令和4年度は男性限定の子育て講座、令和6・7年度は家事・育児の役割分担の講座を開催し、固定的な性別役割分担意識を見直すきっかけづくりとした。 また、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」第58号にては「家庭内における男女共同参画」をテーマにコラムを掲載した。	多様性社会推進課
102	76-2	【女性活躍】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施	家庭内の男女共同参画を推進するため、固定的な性別役割分担意識を見直す講座などを実施します。	【管理指標項目】 固定的な性別役割分担意識を見直す講座などの実施回数 【目標値】 各公民館で年1回以上 【7年度実績】 全公民館 延べ172回実施 うち男性参加36回	全公民館で育児講座、幼児家庭教育学級など家庭教育領域の講座を実施した。 また、親子講座などの実施の際には、開催日を土日にするなど、父母のどちらでも参加できるよう配慮した。	男女平等や男女共同参画の視点を踏まえた講座を開催したものの、土曜日の開催でも母親中心の参加に偏る現状がある。	講座の内容の見直しや父親の積極的な参加を促す周知を行う。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	公民館側の工夫や呼びかけにより、一定数の父親（男性）参加があった。	公民館側の工夫や呼びかけにより、一定数の父親（男性）参加があった。	公民館
103	77	「ママ・パパになるための学級」の充実	安心して妊娠・出産・子育てに臨めるように、知識や技術を提供するとともに、両親が共に子育てを担っていけるように支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	妊娠期に2回（集合型）で実施。 参加数（延） 妊婦　401人 パートナー　376人	講義や体験だけでなく、妊娠期からの仲間づくりの視点が必要。 育児休暇を取得する男性も多く、パートナーシップについて、男性側のサポートも含めた内容のニーズがある。	参加者を地域ごとにグループ化し、グループワーク等を通じた仲間づくりの場を提供。パートナーシップについては、講義、グループワーク実施。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	妊婦、パートナーともに昨年度に比べて参加者数が増加した。	妊娠期に両親へ実施することによって、産後の子育てへのイメージがつくとともに、両親が協力して子育てができていると考える。	健康支援課
104	78-1	男女共同参画の視点を含めた啓発紙・パンフレット等の発行	子育てや介護などに関するパンフレット・チラシ等の作成に際し、男女共同参画の視点を含めた紙面づくりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	出生や転入に係る手続をされる保護者を対象に配布している子育てハンドブックや孫育てハンドブックの作成にあたり、男女共同参画の視点に立った子育て支援につながるよう、紙面づくりに配慮した。	作成した冊子について、広く手に取ってもらえるよう周知を進めていく必要がある。	パンフレット・チラシ等の作成に際し、内容やイラスト等を確認し、男女共同参画の視点を含めた紙面づくりを行っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	作成した冊子について、広く周知を進めた。	男女共同参画の視点を含めた紙面づくりに努めた。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
105	78-2	男女共同参画の視点を含めた啓発紙・パンフレット等の発行	子育てや介護に関するパンフレット・チラシ等の作成に際し、男女共同参画の視点を含めた紙面づくりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知用パンフレット作成と配布、広報への掲載等、制度理解のための啓発を行った。	特になし	介護制度について認識してもらえるよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パンフレットの配布等により、介護が必要な方の家族や周囲の方のみでなく、今後必要となる方についても制度の周知が図られた。広く周知を図ることにより、介護負担が特定の家族に偏ることなく社会全体で支える意識を広めることができた。	計画期間全体を通して、制度改正等の情報を、パンフレット等で、分かりやすく、周知することができた。引き続き介護保険制度が市民にとって身近なものとなるよう周知を図っていく。	介護保険課
106	79	父親の子育て参画を意識した情報提供	保育所・幼稚園・こども園の事業実施において、父親の子育て参画を促す情報の提供を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	土曜日開催の行事では、多くの父親が参加し、園行事を通してこどもの成長を共に喜ぶことができ、子育てへの参画を促す一助となった。	家庭での状況や施設での様子を保護者連絡アプリで母親も含めて共有していく流れを活かし、子育てへの関心につなげ参画を促していく。	保護者連絡アプリを活用して、より分かりやすい内容を発信し、子育てへの参画を促していく。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	日々の送迎、園行事などで、父親との関係作りを行い、子育てへの参画につなげていくことができたため。	父親が参加できる行事開催日の実施や保護者連絡アプリを活用していくことで、子育てに関する情報提供ができたため。、	こども保育課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2　ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
107	80	男女が参加できる地域開放の充実	保育所所庭開放や幼稚園の子育てふれあい広場について、実施内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 保育所所庭開放日数 【目標値】 現計画中に各施設週2回以上 【7年度実績】 各施設週1回	前年度より、開放時間を増やしたことで、来所した親子が在所児と触れ合う楽しさが多く味わえ、満足する感想が増えた。	地域開放の内容を各施設の実情も含め、検討をしていく。	地域開放の充実を図るための方法を検討、実施していく。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	年齢にあった場や在園児とのかかわり等について工夫するとともに、就園に関することや育児の悩みに応じる等の相談にも対応することに努めた。	親子で安全に安心して楽しく過ごせる場の提供に努めることができた。保育所の所庭開放については、全ての施設が週1回以上実施しているが目標値には達していない状況であるため内容の充実と周知に努める必要がある。	こども保育課
				【管理指標項目】 子育てふれあい広場と施設開放の実施日数 【目標値】 各施設年間6回以上 【7年度実績】 各施設年間6回	子育てふれあい広場は計画通り実施をし、参加者数も回を重ねるごとに、増加する施設もあった。継続して参加する保護者もおり、広場でのこどもの様子を通して、成長や変化を喜ぶ感想もあった。	引き続き、健康支援課との連携を図り、子育てふれあい広場への参加につなげていく。	引き続き、親子が楽しいひと時を過ごせる場作りに努め、地域の未就園児親子の参加につなげていく。											
108	81	多様な働き方を支援するための保育の拡充	保育所・こども園における時間外保育、産休明け保育、一時保育、預かり保育の実施内容などの拡充を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	時間外保育、一時保育、預かり保育等の環境の見直しや保育内容の充実に努めた。	引き続き、多様な働き方を支援するための体制作りに努める。	一時保育の利用者の傾向を分析するとともに、利用枠等について検討していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	在園児との交流の機会を増やしたり、保護者からの相談にのる等、多様な働き方をする保護者支援に努めることができた。	時間外保育、産休明け保育、一時保育、預かり保育の保育環境の充実に努めることができた。	こども保育課
109	82	病児・病後児保育の周知	市内の病児・病後児保育の周知を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市内こども園や保育所に入所する児童の保護者に対して、病児・病後児保育施設のチラシを配布した。 病児・病後児保育施設の情報を広報に掲載した。 令和4年4月1日から休室していた、済生会習志野病院のキッズケアルームなでしこについて、令和7年10月から再開したため、幼稚園や認可保育施設、小学校3年生までの保護者に対してご案内したほか、広報誌や市ホームページを通して周知を図った。	病児・病後児保育施設の利用がしやすくなるよう、利用方法の案内等を周知していく。	リーフレット・チラシの配布と併せて、病児・病後児保育施設の情報を広報に掲載する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	令和7年10月から再開したキッズケアルームなでしこについて、広報や市ホームページ掲載等での周知に努めた。	保護者へのリーフレット及びチラシの配布や子育てハンドブック掲載、市民への広報や市ホームページ掲載等により、様々な方法で、事業の周知に努めた。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
110	83	ファミリー・サポート・センター事業などの充実	相互援助や組織の活用を行い、サービスメニューの拡大などや会員の確保を行うとともに、研修内容の充実を図ります。	【管理指標項目】 ファミリー・サポート・センター入会説明会の実施回数 【目標値】 定例入会説明会38回、地域入会説明会4回、土・日入会説明会3回 【7年度実績】 定例入会説明会42回、来庁（個別）入会説明24回、訪問入会説明5回	定例入会説明会を行った。 定例入会説明会に来られない方については、個別に来庁・訪問入会説明で随時対応した。	定例入会説明会に来られない方について、個別で来庁・訪問入会説明ができることの周知方法を検討する必要がある。	定例入会説明会と併せて、来庁・訪問での入会説明を行う。 研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上等を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	令和6年度の実績を上回る回数の個別・訪問説明会を開催し、できる限り利用会員、提供会員の希望に添える対応をした。	利用会員、提供会員を対象とした研修会等を定期的に開催し、会員の知識や技術の向上等を図った。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
111	84	保育所についての情報提供の充実	働きやすい環境づくりのため、保育所入所に関する情報の提供に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・「広報習志野」及び市ホームページに保育所等入所募集記事を掲載するとともに、ホームページにおいては、毎月の施設別・年齢別空き状況を掲載した。また、4月募集の申し込み状況（申込者、承諾者、不承諾者）、入所選考の基準早見表及び同点審査表、各施設の年齢ごとの承諾者数及び承諾者の最低点数を市ホームページにおいて公表した。 ・LINEを利用し、4月の保育所等申込案内、方法、入所選考の結果等、各月の施設別・年齢別空き状況について配信を行った。また、4月の保育所等の窓口での申込受付について、LINE等を活用して予約受付を行った。 ・電子申請受付については、「ぴったりサービス」、及び「ちば電子申請サービス」による受付を行った。	市ホームページの掲載内容や電子申請手続きについて、さらなる充実を検討する。	・令和7年度に引き続き、「広報習志野」及び市ホームページへ募集記事を掲載するとともに、ホームページにおいて月ごとの施設別・年齢別空き状況を掲載する。また、4月募集の申込状況（申込者、承諾者、不承諾者）、入所選考の基準早見表及び同点審査表、各施設の年齢ごとの承諾者数及び承諾者の最低点数を市ホームページにおいて公表する。 ・LINEを利用し、4月の保育所等申込案内、方法、入所選考の結果等、各月の施設別・年齢別空き状況について配信を行う。また、4月の保育所等の窓口での申込受付について、LINE等を活用して予約受付を行う。 ・電子申請受付について、ぴったりサービスに加え、ちば電子申請サービスによる受付を継続して行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	市のホームページや広報、LINE等、周知に可能なツールを使用し、情報発信を行った。また情報発信のタイミングについても、遅滞せず、速やかに最新の情報提供をすることができた。	こども保育課窓口をはじめ、広報習志野、市ホームページにて保育所等入所募集記事を掲載するとともに、ホームページにおいては、月ごとの施設別・年齢別空き状況を掲載した。かつ、例月入所申込の更新とは別に、応募者数の多い4月募集につていは、申し込み状況、選考結果、空き状況を掲載した。 また、市のSNSも活用した情報発信を開始したり、4月の保育所等の窓口での申込受付については、ぴったりサービス、ちば電子申請サービスによる電子申請による受付を開始する等、様々なツールを用いた情報発信に努めることができた。	こども保育課
112	85-1	子育て支援拠点での男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日の開所などにより平日利用できない家庭も利用しやすい施設づくりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	習志野市こどもセンター（鷺沼）については土曜日、きらっ子ルームやつでは土曜日、日曜日の開所を継続して実施している。	土曜日、日曜日の父親の来所は増加傾向にあることから、引き続き声かけなどを通して、父親来所に向けた周知を図る。	土曜日、日曜日に開催している父親向けの行事等について、平日しか利用できない家庭もあることから、平日開催が可能か検討を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	土曜日・日曜日ともにイベントを実施し、利用促進に努めた。	・土曜日、日曜日を開所することにより、平日に利用できない父親や共働き家庭等の利用促進に努めた。 ・窓口に手続きに来た際には、施設の説明を行い、利用促進に努めた。	子育てサービス課
113	85-2	子育て支援拠点での男性の参画促進	子育て支援拠点施設の土、日の開所などにより平日利用できない家庭も利用しやすい施設づくりを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	こども園こどもセンターの土曜日の開所を継続して実施している。	こども園こどもセンターで実施している行事について、土曜日に実施していない施設や毎月実施していない施設もあり、男性の利用を十分に促すことができていないと思われる。	各こども園こどもセンターにおいて開催している行事の一部を、土曜日にも実施することを継続及び促進し、土曜日の利用をさらに促していく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	土曜日の開所を継続して実施し、土曜日に工夫をして行事を実施する施設もあった。	各こども園こどもセンターにおいて、月～土曜日の毎日開所を実施し、様々な親子の利用を促した。また、土曜日に行事を設定する施設が増え、利用を促すことができた。	こども保育課
114	86	地域で支える子育ての機運の充実	地域ぐるみの子育て支援体制を推進するため、関係機関との連携を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	きらっ子こどもまつりを開催した。 『ならしの孫育てハンドブック』を配布し、子どもが健やかに成長することができる環境づくりに努めた。	・今後も、地域ぐるみの子育て支援体制の推進のため、継続的にこどもセンター（鷺沼）において地元町会、社会福祉協議会や子育て支援団体と協議し、事業等を実施する。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を増刷し子どもが健やかに成長することができる環境づくりに努める。	各種イベント等を実施する。 『ならしの孫育てハンドブック』の配布を行う。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	地元町会や社会福祉協議会との協議を重ね、地域ぐるみの子育て支援体制の推進に努めた。	・きらっ子こどもまつりを開催し、地域交流のきっかけとなった。 ・『ならしの孫育てハンドブック』を継続して配布した。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
115	87	放課後児童会の充実	放課後児童会の施設整備を図り、充実した運営の提供に努め、安心して働くことができる環境づくりに取り組みます。また、支援員に対し、男女共同参画に関する研修を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・放課後児童会における入退会等の申請を電子化することで利用者の利便性の向上を図った。 ・大久保東小学校において児童会室移転に伴い、第二児童会を新設するなど、各児童会施設の充実を図った。 ・職員不足の解消と安定的な児童会運営のため、下記のとおり業務委託を実施した。 新規：実籾小学校地区 更新：東習志野及び秋津小学校地区 ・男女共同参画に関する研修は実施しなかった。	・児童会の施設整備に取り組んだ結果、児童会施設の充実と待機児童ゼロを維持している。しかしながら、小学4年生以上の放課後児童会への入会希望が増加しているため、引き続き環境整備や職員の確保、直営児童会の民間事業者への委託化に取り組んでいく必要がある。 ・男女共同参画の理念やジェンダーに関する理解を深めるため、また多様化する社会へ対応していくために定期的な研修や指導が必要である。	・待機児童ゼロを維持するため、引き続き職員の雇用並びに施設整備及び運営業務委託等を実施する。 ・多様化する社会の中で、影響を受けやすい小学生の時期において、児童と育成支援及び家庭環境の支援が求められているなか、それに応じた職員の経験やスキルアップの必要がある。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・入退会等の申請を電子化することで利用者の利便性が向上された。 ・児童会の施設整備に取り組んだ結果、待機児童ゼロを維持することができた。	・職員を確保し、安定的な児童会運営を図るため、11小学校22児童会の業務委託を実施した ・児童会の施設整備と運営業務委託に取り組んだ結果、児童会施設の充実と待機児童ゼロを維持することができた。 ・入退会等の申請を電子化することで利用者の利便性が向上された。	児童育成課

基本目標	Ⅲ多様な働き方、生き方を認め合い、仕事と生活が調和した環境づくり
課題	2 ワーク・ライフ・バランスの推進
施策の方向	③家庭生活と社会生活の両立に向けた子育て支援・介護支援《重点施策》

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
116	88	子育て支援相談の充実	こどもセンター、きらっこルームの周知を行うとともに、子育てに関する情報提供を行い、安心して子育てできるよう、個々の家庭に応じた支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	習志野市こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつの利用者に対し、利用者と直接コミュニケーションをとる中で子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 こども部窓口の子育て支援コンシェルジュの職員が各施設を訪問し相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	・こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、子育て支援コンシェルジュ（利用者支援事業）についても周知を図る。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	・こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつの利用を促進していくとともに、子育て支援コンシェルジュ（利用者支援事業）についても周知を図る。 ・こどもセンターに新規配属される職員について養成講座を実施するとともに、事業運営の円滑化、各施設との情報共有に努める。 ・引き続き「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談体制の強化に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	令和7年度に新たにこどもセンターに配属された職員への養成講座を実施し、相談体制の強化に努めた。	・習志野市こどもセンター（鷺沼）、きらっ子ルームやつにおいて、子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応した。 ・こども部窓口にも子育て支援コンシェルジュを配置し、子育てに関する相談・情報提供、相談支援の体制を強化した。 ・子育て支援コンシェルジュ養成講座を実施し、男女共同参画についての研修を行った。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
117	89	乳幼児に対する健康相談などの充実	乳幼児の健康相談などを通じて、子どもの発育・発達を確認するとともに、生活習慣や生活リズム等の子育てについての相談に応じ、子育てへの不安を軽減し、より良い親子関係が形成できるよう支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	4か月児健康相談では、子どもの発育発達の確認、離乳食について説明し、参加者同士の自己紹介の場を設け、交流を促すよう働きかけた。10か月児健康相談では児の発育発達の確認、歯について説明し、参加者同士の交流、仲間づくりを図ることができた。	父親の育児休暇取得が増加傾向にあり、父の参加率も増えている。育児休暇終了後に母が不安や孤立感を抱きながら子育てに取り組むケースや、父親の育児不安等の課題が出てきている。健康相談の内容をどう充実させ、支援していくかの検討が必要。	母親だけでなく、父親に対しても乳幼児の健康相談を通じて、子育てへの不安を軽減し、安定した家族関係の中で育児ができるよう支援する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	健康相談の場で、母親だけではなく家族、夫婦関係の課題について把握、相談に対応し、関係機関につなぐことができた。	健康相談では、子どもの月例に応じた発育発達の確認や個々に必要な相談に応じるとともに、参加者同士の交流や仲間づくりを図ることができている	健康支援課
118	90	保健福祉サービスの充実、介護予防の推進	介護予防に関する事業や市民同士の支え合い活動などについての情報を高齢者にも十分提供し、これらの活動に男女が互いの特性を生かしあって参加できるよう支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	介護予防教室として、運動器の機能向上教室と認知症予防教室を実施し、活動性の維持・向上への支援をした。令和6年度に開始したLINE配信・、ちば電子申請サービスでの申し込みにより、さらに、男性の参加割合が増加しました。	介護予防の内容の充実とあわせて、より多くの高齢者が参加できる機会の確保が必要です。	・介護予防教室参加後も運動継続できるよう、地域の「通いの場」の情報提供および、自主グループ化を促していきます。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・男性参加者の割合が増えた。 ・介護予防教室終了後の自主グループが2か所できた。	・LINEやちば電子申請サービスなど周知方法を改善した。また介護予防教室にAIを導入したり、認知症予防教室に難聴講座を導入するなどの取組により、参加希望者や男性参加者の増加に結び付いたため。	健康支援課
119	91	介護保険制度の内容理解に向けた啓発	「介護保険制度」について、性別にかかわらず、家族の負担軽減につながるよう、制度の啓発に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	被保険者証交付時のリーフレットの送付、制度周知用パンフレット作成と配布、広報への掲載等、制度理解のための啓発を行った。	特になし	介護制度について認識してもらえるよう、引き続き同様の啓発を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	パンフレットの配布等により、介護が必要な方の家族や周囲の方のみでなく、今後必要となる方についても制度の周知が図られた。広く周知を図ることにより、介護負担が特定の家族に偏ることなく社会全体で支える意識を広めることができた。	計画期間全体を通して、制度改正等の情報を、パンフレット等で、分かりやすく、周知することができた。引き続き介護保険制度が市民にとって身近なものとなるよう周知を図っていく。	介護保険課
120	92	介護者の支援体制の充実	市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市内5カ所の高齢者相談センター（地域包括支援センター）において、介護についての相談に対応し、必要な情報の提供を随時行った。各センターから機関紙の発行を行った。 家族の相談対応件数 *7,175件（R6）*	各センターにおいて、個々に相談を受けなど総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができている。	相談先としての認知度を上げるため、引き続き高齢者相談センターのパンフレットや機関誌の配布によりセンターの周知を図っていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各センターにおいて、個々に相談を受ける中で、家族構成や介護者の生活状況など総合的に判断することを心掛け、必要な情報の提供を行うことができている。センターの設置によりいつも対応できる体制となっている。	高齢者人口の増加および単身、高齢者のみ世帯の増加に伴い、相談を必要とする者が多くなると推測されることから、さらに高齢者相談センターの周知に努め、情報提供ができる相談体制を進めていく。	高齢者支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安全に暮らせる環境づくり
課題	1　生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	①　生涯にわたる健康維持への情報提供と相談の充実

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
121	93	年代や個々に応じた健康教育、健康相談の充実	年代や性別に応じた健康教育の実施や個々に応じたきめ細やかな相談に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	幼稚園健康教育や公民館等の講座、出前講座で年代に応じた健康教育を実施した。	年代に応じた健康維持のための情報提供を継続して行う必要がある。	引き続き幼稚園健康教育や公民館等での健康教育を実施する。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	幼稚園健康教育や公民館、出前講座等で年代に応じた健康教育を実施することができた。	幼稚園や公民館と連携や連合町会等、市民の利便性の良い場所において年代や健康課題に応じた健康教育を実施出来ている。	健康支援課
122	94	健診（検診）に関する情報提供および受けやすい体制の整備	妊婦・乳幼児健診、成人の健康診査（がん検診など）の事業の充実、整備、情報の周知に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	対象となる(健診)検診と、その受け方について、個別通知・再勧奨・ホームページ・広報・LINE配信等により、各対象者に届きやすい情報提供を行った。 幼児健診では、引き続き予約システムを活用し、対象者が健診を受けやすいようにした。また、乳児対象の事業を再開したため、乳児の保護者への幼児検診周知の機会とした。	各健診（検診）の対象者に届きやすい方法で、わかりやすい情報提供を継続的に行う必要がある。	個別通知についてはナッジ理論を活用し、対象者が手に取って分かりやすい情報提供に努める。 引き続き、ホームページ・広報・LINE配信を活用し、一年を通してタイムリーな情報提供や幅広い周知に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	対象者への情報提供、周知方法を検討しながら、健診・検診の受けやすい体制整備に努め、実施できた。	幼児健診の予約システム導入により健診の予約や変更がスムーズに行えるようになり、利便性が向上している。 成人の健康診査やがん検診では、ナッジ理論に基づく通知物の工夫により、受診率の向上につながった。	健康支援課
123	95-1	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	小中学校と連携し、生活習慣病予防健康教育、歯科講演会等を実施し、喫煙や飲酒等と健康との関わり等についても成人高齢者に向けて、指導した。睡眠と飲酒等についても情報提供を行った。	引き続き、年代に応じた健康づくり、生活習慣病予防、喫煙・飲酒等の情報発信を行う必要がある。	引き続き対象にあわせた健康教育を実施し、生涯にわたる健康維持への支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	小・中学校生活習慣病健康教育の実施件数は増加している。	健康教育実施前に、教員と各校での健康課題を確認し、各々の現状に応じた指導を行うことができた。	健康支援課
124	95-2	性感染症・エイズ予防と喫煙・飲酒・薬物乱用防止の啓発	地域保健では、対象に合わせた啓発活動を行います。学校では、県主催の研修への教職員の参加を促進するとともに、児童生徒に適切な指導を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	県が主催する「性教育研修会」「薬物地乱用防止教育研修会」への参加を促した。	どちらの研修もWeb形式による研修だったため、受講者が受けやすい時間帯での受講が可能であった。受講期間内に申し込みをした全員が受講できるような配慮が必要と考える。	受講期間についてリマインドを行うなどして、受講者全員の期間内受講に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	県主催の研修機会を確実に学校へ周知し、参加を促すことができたため。	毎年各校１人は研修を受講することができているため。	保健体育安全課
125	96	「生命と性」の健康についての理解の向上	各中学校区の実情に合わせ、中学校区地域保健連絡会などにおいて、「生命と性」の健康についての理解の向上に努めます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	各中学校区の実情に合わせ、中学校区地域保健連絡会などにおいて、「生命と性」の健康についての理解の向上に努めた。	市内7つの中学校区ごとに会議を2回開催した。全体研修会は令和7年度のアンケートをもとに現在の実情に合わせたテーマで思春期保健講演会を開催する必要がある。	来年度も引き続き各中学校区ごとに会議を2回開催、全体研修会として思春期保健講演会を開催し、「生命と性」の健康についての理解の向上、健康づくりの取り組みを進めていく。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	各中学校区で地域の子どもたちの健康課題を共有する機会ができた。思春期保健講演会で支援者に向けた研修を開催することで「生命と性」の健康について共通認識し、各機関での取り組みの充実につなげることができた。	自治体と学校等が連携し、各中学校区毎の健康課題や実情に合わせ、「生命と性」の健康についても関係者が共通の目標をもって理解の向上に努めることが出来ている。	健康支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	1　生涯にわたる健康維持への支援
施策の方向	②安心して妊娠・出産できる環境に向けた支援

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
126	97	切れ目ない母子健康支援	「妊娠届出」時に必ず看護職が妊婦やパートナーと面接し、その後のすべての節目の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目のない母子健康支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	「妊娠届出」時に必ず看護職が妊婦やパートナーと面接し、その後のすべての節目の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目のない母子健康支援を行います。	「妊娠届出」時に必ず看護職が妊婦やパートナーと面接し、その後のすべての節目の時期に妊娠・出産・子育ての状況を確認し、妊娠中から就学前まで切れ目のない母子健康支援を行います。	こども家庭課の設置に伴い、地区担当保健師はこども家庭センター兼務となる。支援が必要なケースについてはより母子保健と福祉の連携強化を図る。適切な時期に支援、介入を行っていく。	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	妊娠届出時より全数の状況把握を行っている。	妊娠期から乳幼児期の子育て期の節目の時期に専門職が健康の支援を行うことによって、その時期に必要な情報や支援に繋がっている。	健康支援課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2　誰もが安心に暮らせる環境の整備
施策の方向	①男女共同参画の視点に立ったひとり親家庭に対する支援

					事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										
No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	担当課
127	98	ひとり親家庭への相談体制の充実	関係機関との連携による情報収集により、個々のひとり親家庭の状況に応じた相談に対応します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	母子父子自立支援員がひとり親の抱える様々な課題に対し、長期的視点で支援を行った。また、必要に応じて関係機関との連携を図り、個々が置かれる状況に応じて適切な相談対応を行った。	ひとり親家庭を取り巻く環境は複雑化しており、様々な要因で生活困窮しているケースが見られる。多角的なアプローチで自立支援を行う必要がある。	引き続きひとり親家庭の抱える課題に対し、関係機関と連携しながら相談者によりそった自立支援を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	相談者からのあらゆる相談に対し、自立支援員が積極的に情報収集を行い、必要に応じて関係機関を案内する等、きめ細やかな相談対応ができた。	相談者からのあらゆる相談に対し、自立支援員が積極的に情報収集を行い、必要に応じて関係機関を案内する等、きめ細やかな相談対応ができた。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
128	99	ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進	ひとり親家庭の生活の安定に資するため手当を支給するとともに、医療費の助成により福祉の増進を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	ひとり親家庭の生活の安定に資するため、児童扶養手当の支給及び対象者に対しひとり親家庭等医療費助成受給券の発行を行った。	ひとり親家庭を取り巻く環境は複雑化しており、時代の変化に合わせて、手続きの簡素化、受給資格の確認等について柔軟に対応していく必要がある。	ひとり親家庭の生活の安定に資するため児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成受給券の発行を行い、福祉の増進に努める。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	ひとり親家庭等への適切な手当の支給及び医療費助成を行い、ひとり親家庭の福祉の増進に努めた。	ひとり親家庭等への適切な手当の支給及び医療費助成を行い、ひとり親家庭の福祉の増進に努めた。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）
129	100	ひとり親家庭の自立に向けた支援	ひとり親家庭の就労による自立を促進するため、給付金の支給や関係機関との連携により支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	ハローワークと連携し、ひとり親家庭の就労支援を実施するとともに、資格取得のために教育訓練講座等を受講する対象者について給付金の支給を行った。	ハローワークの教育訓練講座の支払いと本市からの支払いの各種条件が異なることから、支給金額について受給者と共通に理解を図りながら十分に注意する必要がある。	自立支援プログラムの策定を行うなど、資格取得に向けた支援を継続的に行うとともに、必要に応じて関係機関との連携を行い、総合的な支援に繋げる。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	必要に応じて自立支援プログラムの策定を行うなど、支援対象者に寄り添った就労支援を行うことができた。	必要に応じて自立支援プログラムの策定を行うなど、支援対象者に寄り添った就労支援を行うことができた。	子育てサービス課（旧：子育て支援課）

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②男女共同参画の視点に立った高齢者、障がいのある人、外国人に対する支援

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
130	101-1	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	千葉県生涯大学校の案内を行い、学習意欲のある高齢者の学習機会の場と情報を広く提供します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	令和7年度の入学案内について市広報紙で周知したほか、窓口に案内書及び願書を配架し、希望者に配布した。	担当課窓口における配布期間中、実際に窓口で願書を受け取りに来たのは4名にとどまっている。また、追加募集もあり、希望者が少なくなっている。	市広報紙において生涯大学校の募集について掲載し、情報提供を行う。また、担当課窓口に案内、願書を配架し、希望者に配布する。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	生涯大学校より依頼を受けた市広報紙への募集案内掲載及び案内書・願書の窓口配布について実施した。	生涯大学校より依頼を受けた市広報紙への募集案内掲載及び案内書・願書の窓口配布について実施した。	高齢者支援課
131	101-2	男女共同参画の視点に立った学習機会・情報の提供	高齢者対象の学習機会、千葉県生涯大学校の案内などの情報を広く提供します。また、公民館活動において、高齢者を対象とした男女共同参画の視点に立った講座を実施します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	高齢者を対象とした「寿学級」を各公民館で実施し、男女を問わず参加できる学習プログラムを年間を通じて実施した。	男女共同参画の視点を踏まえた講座等を実施しているが、寿学級生の年齢や健康状態の差により、身体を動かすことなど学習プログラムの配慮が必要である。	性別にこだわらず、年齢や健康状態に配慮した事業実施を図る。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画の視点に立った学習機会を提供した。	いずれの年度も男女共同参画の視点に立った学習機会を提供した。	公民館
132	102	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動における男女共同参画の促進	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動において、男女が共同参画できる環境づくりへの支援を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	老人クラブ連合会で実施した各種イベント事業について、企画から設営等全般に男女問わず会員が携わった。	男女問わず事業実施の際、各々の役割分担が徹底しておらず、スムーズな運営に支障が出ることがある。	老人クラブ連合会役員、参加会員に事業内容の周知を徹底する。また、事業の参加者を増やすため、老人クラブ会員に参加呼びかけを行う。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	調整及び周知を図り、トラブルなく事業を実施できた。	連合会との調整及び各クラブに対して周知を図り、大きなトラブルなく事業は実施できた。	高齢者支援課
133	103	老人クラブ等の活動における男女共同参画の促進	老人クラブ等の高齢者の活動において、男女が共同参画できる環境や意識づくりへの働きかけを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	老人クラブ連合会の副会長及び役員、また単位老人クラブ会長も女性が就任しており、各種活動に意見をいただき、老人クラブの運営に反映させている。	男女問わずであるが、老人クラブ連合会の役員、単位老人クラブ会長などの受け手が高齢を理由に少なくなってきており、解散する単位老人クラブもあり、今後の課題となっている。	皆が協力して事業を実施するため、役員改選時等、女性会員に参加を呼び掛ける。また、連合会役員がまちづくり会議において各単位老人クラブについて紹介するなど、会員増やす取り組みを実施する。	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	老人クラブ連合会の会議の様々な意見を、運営、事業等に反映させることができた。	老人クラブ連合会の会議において、男女問わず各役員から様々な意見を伺うことができ、運営、事業等に反映させることができた。	高齢者支援課
134	104	障がいのある人の社会参加と就労支援の充実	男女を問わず障がいのある人の社会参加の促進や就労希望者に対する支援体制の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・習志野市障がい者地域共生協議会雇用促進部会を年１０回開催した。その中で、障がい者雇用をしている企業の見学会（1回）、また市内就労支援事業所を対象とした意見交換会（1回）を実施した。 ・市内の経済的中核を担う中小企業に対し、障がい者雇用に係る意識醸成を図るための啓発活動の一環としてパンフレットの作成を行った。	市内における障がい者の実習受入れの機会拡大及び障がい者雇用に対する理解促進	障がい者雇用の現状と課題に関する勉強会、企業・事業所見学会、就労系障害福祉サービス事業所との意見交換会、障がい者雇用促進に向けたパンフレットの作成等の取組を行い、雇用促進部会として市内の障がい者雇用に係る課題を把握し、障がい者の就労に係る支援体制の充実を図ることができたため。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	障がい者雇用の現状と課題に関する勉強会企業・事業所見学会、就労系障害福祉サービス事業所との意見交換会、障がい者雇用促進に向けたパンフレットの作成等の取り組みを行い、雇用促進部会として市内の障がい者雇用に係る課題を把握し、障がい者の就労に係る支援体制の充実を図ることができたため。	障がい者雇用の現状と課題に関する勉強会企業・事業所見学会、就労系障害福祉サービス事業所との意見交換会、障がい者雇用促進に向けたパンフレットの作成等の取り組みを行い、雇用促進部会として市内の障がい者雇用に係る課題を把握し、障がい者の就労に係る支援体制の充実を図ることができたため。	障がい福祉課
135	105	障がいのある人の相談	障がい者地域共生協議会の活動や障がいのある人の相談支援体制の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・協議会の全体会、運営会議、各専門部会の活動を通し、地域の課題について協議、検討を行った。 ・地域生活支援拠点等の専門的人材の確保・養成の取り組みとして、市内障害福祉サービス事業所職員への研修会を開催した。		・協議会については、令和7年度が委員の任期の最終年であることから、次期協議会での検討事項や協議会の体制についての協議を行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	・年3回発行する広報紙「ならとも」を通して、障害福祉サービスや障がいのある人への理解促進を図った。 ・専門部会においても、それぞれの部会の目的を持ったチラシを作成するとともに、商工会議所の総会や各部会において周知啓発を行った。	・年3回発行する広報紙「ならとも」を通して、障害福祉サービスや障がいのある人への理解促進を図った。 ・専門部会においても、それぞれの部会の目的を持ったチラシを作成するとともに、商工会議所の総会や各部会において周知啓発を行った。	障がい福祉課
136	106	障がいのある人のスポーツ・レクリエーション活動の充実	男女問わず参加できる障がい者スポーツ大会の実施やレクリエーション活動の充実を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・習志野市ユニバーサルスポーツ交流会の実施。	実施スポーツや開催方法が例年同様なため、今後どのように変えていくかが課題である。	障がい者スポーツのコーディネーターを活用して取り組む。	A:貢献できた	D:事業を実施できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	習志野市ユニバーサルスポーツ交流会でボッチャ等を実施し、障がいのある人もない人も交流して協議ができた。	実施スポーツや開催方法が例年同様なため、今後どのように変えていくかが課題である。	障がい福祉課
137	107	【新規】 多文化への理解促進	国際交流協会を中心に、姉妹都市との交流など、国際交流により、多文化への理解を深め、相互理解の促進を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市国際交流協会に対し、補助金交付及び市庁舎分室の会議室の提供を行い、協会の活動を支援した。 協会では、市民まつりや部会講演会などでPR活動を行い、多文化への理解を深めた。 その他、SDGsカードゲーム「ゲット・ザ・ポイント」を市内小学校や市内団体に向け実施し、持続可能な社会についての学びを提供するとともに、姉妹都市交流について情報を発信した。	令和8年度は、姉妹都市提携40周年事業及び姉妹都市青少年交流事業の実施予定年であり、各事業において、受入・派遣を行う。できるだけ早い段階で参加人数の確定や時期の確定を進める。 市国際交流協会に事業委託はおこなうものの、行程案に含まれる施設見学等の要望がかなえられるよう、庁内各課との調整を要する。	タスカルーサ市側の体制も変化したことから、両市の重要視するもの、優先順位をきちんと明確にとらえ、タスカルーサ市及び市国際交流協会と密に連絡を取り合い、計画を進めていく。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	姉妹都市交流事業が復活し、各市の交流の捉え方について、随時すり合わせができている。	国際交流という性質上、新型コロナウイルスに制限を受ける期間が長く、実績の振り幅の大きい分野であったが、制限期間中に実施したオンライン交流などが、気軽に交流のできる場として定着し、現在も業務上の調整や打ち合わせ等に大いに活用できている。 また、市国際交流協会員もコロナウイルス感染症を受け、345人まで減少していたものの、5類移行後は会員数も429人と以前同様に増加し、協会事業や本市国際交流事業に興味をもってもらえる環境が整備できつつあると感じている。	協働政策課

基本目標	Ⅳ心が通い合い、健康で安心に暮らせる環境づくり
課題	2 誰もが安心して暮らせる環境の整備
施策の方向	②男女共同参画の視点に立った高齢者、障がいのある人、外国人に対する支援

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績 （具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における 具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	令和6年度 の貢献度	令和7年度 の貢献度	**総合評価**	令和7年度 評価の理由	総合評価の理由	
138	108	【新規】 外国人向けの日本語教室の開催	外国人が安心して日常生活、社会生活を送れるよう、国際交流協会で実施する日本語教室を支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	市国際交流協会への補助金の交付と市庁舎分室の会議室の提供などを通じ、日本語教室の実施に係る財政的支援を行った。	日本語教室は、対面学習を選択する人の方が多く、ある程度広い会場を確保することや会場の固定化など、学習者にとって快適な環境を提供できるよう引き続き支援が求められる。	習志野市国際交流協会運営費補助金を通じた財政的支援及び学習会場の確保、日本語教室のPRを行う。	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	学習者及び日本語ボランティアの快適な学習環境を整えることができた。	学習者及び日本語ボランティアの快適な学習環境を整えることができた。	協働政策課

基本目標	Ⅴ　将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	1 市民と行政による連携の強化
施策の方向	①　男女共同参画センターを中心とした市民協働の推進

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
139	109	男女共同参画推進登録団体連絡会の開催と連携・協働	男女共同参画推進登録連絡会を開催し、団体との情報交換を図るとともに、各団体の活動報告や研修会を通して、団体間の連携を図ります。	【管理指標項目】 男女共同参画推進登録団体連絡会および研修会等の開催回数 【目標値】 年2回 【7年度実績】 年2回	令和8年3月に団体連絡会議を開催。団体との情報交換を図った。また、団体の研修会の一環として、令和8年1月に開催の男女共同参画啓発講座「災害から命と健康を守るために～女性・子ども・障がいのある人・高齢者などの視点から～」に参加いただき、防災へ男女共同参画の視点を取り入れることへの理解を深めた。	引き続き、団体との連携を図る取り組みを検討していく必要がある。	今後も団体と情報交換を行い、活動報告や研修会を通して、団体間の連携を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	男女共同参画推進登録団体連絡会および研修会とともに開催し、情報交換や連携を図れた。	令和2～4年度においては、感染層対策の影響で中止または書面開催となったが、令和5年度以降は開催して情報交換や連携を図れた。	多様性社会推進課
140	110	男女共同参画推進登録団体などとの協働によるイベントの実施	男女共同参画推進登録団体や情報紙「きらきら」の編集委員などと男女共同参画の啓発、推進を図るため、市民との協働によるイベント、講座などを実施します。また、登録団体主催事業を積極的に支援します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・令和7年度男女共同参画週間事業講演会を開催。実施にあたり、運営委員会を開催（年5回）。 ・男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の編集委員と協働で年2回情報紙を発行した。 ・令和7年11月に行われた「女性に対する暴力をなくす運動」パネル展示では、男女共同参画推進団体と協働で行った。	引き続き機会をとらえて市民・登録団体との連携を図る必要がある。	男女共同参画週間事業運営委員会を立ち上げ、事業実施に向けて検討を進めている。 引き続き男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の発行を市民と協働で行う。 また、団体活動の支援に取り組む。	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	男女共同参画週間事業および男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の事業を市民と協働で実施することができた。	男女共同参画週間事業および男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の事業を市民と協働で実施することができた。	多様性社会推進課
141	111	市民参画による情報紙の企画・編集	市民編集委員と協働で、男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」の企画・編集を行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女共同参画社会づくり情報紙「きらきら」は、市民公募の編集委員6名と、対面またはリモートを活用しながら、年9回の会議を開催した。 令和7年9月（第60号）発行 令和8年2月（第61号）発行	編集における工夫や、情報共有を行い、紙面づくりを行う必要がある。 編集委員と連携を図り、委員募集や取材先の検討を行っていく必要がある。	情報紙「きらきら」の発行に向けて、市民と協働で企画・編集を進めていく。	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	市民と協働で、家庭における男女共同参画及び多様な働き方など、様々なテーマを特集し年2回発行することができた。	市民と協働で、ジェンダー、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、パラレルキャリアなど、男女共同参画の様々なテーマを特集して毎年年2回発行することができた。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅴ　将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	①　習志野市男女共同参画審議会の充実

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標 実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績 （具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における 具体的な取り組み	令和2年度 の貢献度	令和3年度 の貢献度	令和4年度 の貢献度	中間評価	令和5年度 の貢献度	令和6年度 の貢献度	令和7年度 の貢献度	**総合評価**	令和7年度 評価の理由	総合評価の理由	
142	112	男女共同参画審議会と事業担当課との連携	男女共同参画審議会や同審議会が設置する部会の意見に基づき、計画の事業担当課などとの対話の機会を調整します。	【管理指標項目】 男女共同参画審議会と事業担当課との対話の実施回数 【目標値】 年1回 【7年度実績】 年1回	令和7年7月に、事業評価部会を設置し、8月（第2回）では次長職で構成される「習志野市男女共同参画施策庁内推進会議」との対話を行い、第3次男女共同参画基本計画の振り返り及び今後のビジョンについて対話（意見交換）および第3次男女共同参画基本計画の令和6年度事業評価について審議を行った。	引き続き、事業評価等について必要に応じて意見交換・情報共有を行いながら施策を推進する必要がある。	引き続き、事業評価等について必要に応じて意見交換・情報共有を行いながら施策を推進する。	D:事業を実施できなかった	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	「習志野市男女共同参画施策庁内推進会議」との対話を行い、第3次男女共同参画基本計画の振り返り及び今後のビジョンについて対話（意見交換）および第3次男女共同参画基本計画の令和6年度事業評価について審議を行った。	令和2年度を除き事業評価部会を設置。対話の機会について、令和5年度までは重点施策をテーマとした事業担当課との対話を行い、令和6年度及び7年度は次期計画策定に向けて次長職で構成される習志野市男女共同参画施策庁内推進会議との意見交換が図れた。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅴ　将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2　計画推進体制の強化
施策の方向	②　庁内の連携と推進体制の強化

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
143	113	事業担当課の取り組みに対する相談支援、助言	市が実施する取り組みの中に男女共同参画の理念を反映させるため、本計画の取り組みを実践する事業担当課への情報提供に努め、積極的に相談支援および助言などを行います。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	・第3次男女共同参画基本計画の令和6年度の取り組みについて、評価が低かった担当課へのヒアリングを行った。 ・子育てサービス課が実施する子育て支援コンシェルジュ養成講座において、DV相談窓口と被害者への対応について講座を行った。	引き続き担当課の事業の取り組み状況について確認をし、積極的な相談支援及び情報提供を行う必要がある。	事業の取組状況を確認し、積極的な相談支援及び情報提供を行う。	D:事業を実施できなかった	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	評価をもとにしたヒアリング、講座等で支援および助言を行った。	第3次男女共同参画基本計画の令和6年度の取り組みについて、評価が低かった担当課へのヒアリングを行った。 令和6年度については、各課が所管する実施計画等の見直しにあたり、市民意識調査が行われていることから、性別欄の記載方法等について、全庁周知を行うほか、担当課に対して助言を行った。	多様性社会推進課
144	114	男女共同参画施策庁内推進会議の充実	男女共同参画審議会などとの対話の機会を有効に活用しながら、柔軟にかつ迅速な視点にたち、庁内における男女共同参画の取り組みを推進します。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女共同参画施策庁内推進会議を2回実施。（令和7年8月、9月。）うち令和7年8月開催は男女共同参画審議会との対話を実施。	男女共同参画施策庁内推進会議を2回実施、うち令和7年8月開催は男女共同参画審議会との対話を実施することで、第3次男女共同参画基本計画の振り返り、今後のビジョンについておよび第3次男女共同参画基本計画の令和6年度事業評価について検討が図られた。 引き続き、男女共同参画施策について、検討を進めてい必要がある。	引き続き、男女共同参画施策について、検討を進めてい必要がある。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	S:大いに貢献できた	男女共同参画施策庁内推進会議を開催し、庁内における男女共同参画の取り組みを推進した。	令和6年度より男女共同参画施策庁内推進会議の構成委員を「次長職及び課長職」から「次長職」に限定して組織化、また担当課会議を廃止して研究会を設置できるようにしたことで、より迅速かつ具体的な意見交換ができるようになり、次期計画の策定に向けた内容の検討が行えた。 引き続き、男女共同参画施策について、検討を進めてい必要がある。	多様性社会推進課
145	115	庁内プロジェクト等の強化	男女共同参画施策庁内担当者会議をはじめ、市民、関係機関などとの連携を図り、多様な意見を交えながら、取り組みの充実、強化を図ります。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	男女共同参画施策庁内推進会議を2回実施。（令和7年8月、9月。）	多様な課題に対して、迅速かつ具体的に連携を図っていくため、男女共同参画施策庁内推進会議にて協議を行った。	今後も事業担当課に対して、ヒアリングを強化するほか、研究会の立ち上げなどを検討し、連携の強化を図る。	D:事業を実施できなかった	B:あまり貢献できなかった	D:事業を実施できなかった	C:貢献できなかった	C:貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	多様な課題に対して、迅速かつ具体的に連携を図っていくため、男女共同参画施策庁内推進会議にて協議を行った。	令和6年度より男女共同参画施策庁内推進会議の構成委員を「次長職及び課長職」から「次長職」に限定して組織化、また担当課会議を廃止して研究会を設置できるようにしたことで、より迅速かつ具体的な意見交換ができるようになり、次期計画の策定に向けた内容の検討が行えた。 引き続き、男女共同参画施策について、検討を進めてい必要がある。	多様性社会推進課

基本目標	Ⅴ　将来像の実現に向けた推進体制づくり
課題	2 計画推進体制の強化
施策の方向	③国・他の地方公共団体・公共的団体との連携強化

No.	事業番号	事業名	事業内容	R7管理指標実績	事業に対する評価			基本目標に対する貢献度										担当課
					令和7年度事業実績（具体的な内容）	事業実績における課題	次期計画期間における具体的な取り組み	令和2年度の貢献度	令和3年度の貢献度	令和4年度の貢献度	中間評価	令和5年度の貢献度	令和6年度の貢献度	令和7年度の貢献度	**総合評価**	令和7年度評価の理由	総合評価の理由	
146	116	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携・協力体制の充実	国・他の地方公共団体・公共的団体との連携を密にし、協力して課題解決に取り組みます。	【管理指標項目】 【目標値】 【7年度実績】	下記の関係会議、連絡会等へ参加。 ・男女共同参画センター等連絡会議(令和7年5月27日) ・令和7年度市町村男女共同参画担当課長会議及び 市町村多様性尊重担当課長会議（令和7年8月19日）(オンライン) ・令和7年度DV被害者支援連絡会議(令和7年10月21日) ・令和7年度　ちば男女共同参画行政担当者連絡会議(令和8年2月12日)(オンライン) ・令和7年度第3回千葉県男女共同参画推進本部幹事会及び市町村男女共 同参画担当者研修会（令和8年3月19日）(オンライン) ・その他、千葉県地域推進員会議への参加	関係機関との連携機会が増えてきているため、積極的に情報収集を行うなどして、関係機関との連携を図る必要がある。	引き続き関係会議、連絡会等に出席し、国や県の情報収集に努め、近隣自治体の取り組みについて情報交換を行い、連携を図る。	B:あまり貢献できなかった	B:あまり貢献できなかった	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	A:貢献できた	会議に積極的に参加する機会を持つことができた。	感染症対策のため各種会議が実施できない年度が続いたが、感染症収束後は積極的に参加し、国・他の地方公共団体との連携強化に努めた。	多様性社会推進課